

松江



松江市 伝統文化芸術 振興計画

第2期 実施計画



松江市

(令和8年度版)

目次

第1章 第2期実施計画の策定にあたって.....	1
1. はじめに.....	1
(1)松江の文化力を支える七つの柱.....	1
(2)六つの取組の視点.....	2
2. 策定の目的と計画期間.....	2
(1)策定の目的.....	2
(2)計画の位置づけ.....	3
(3)計画期間.....	3
3. めざすべき姿.....	4
第2章 現状と課題（第1期実施計画を振り返って）.....	5
1. 第1期実施計画の取組と成果.....	6
2. アンケートの結果.....	16
(1)アンケート結果の概要.....	16
(2)アンケート結果と分析.....	16
3. 本市の課題.....	21
第3章 伝統文化芸術振興を図るために取り組む施策・方針.....	22
1. 4つの課題ごとに取り組む施策・方針.....	22
(1)効果的な情報発信.....	22
(2)鑑賞・体験・学習の機会の確保.....	24
(3)後継者・担い手育成.....	26
(4)資金確保.....	28
第4章 推進のあり方.....	29
1. 推進する上での役割（市、文化に関わる者の役割）.....	29
(1)市の役割.....	29
(2)文化に関わる者の役割.....	29
2. 関係機関との連携及び市の推進体制.....	30
(1)関係機関との連携.....	30
(2)市の推進体制.....	30
3. 実施計画の評価・検証.....	31
4. SDGs との連携.....	31
第5章 KPI 一覧.....	32

第1章

第2期実施計画の策定にあたって

1 はじめに

本市では、令和3（2021）年3月に、世代を超えて誰もが心豊かになれるまちの実現に向けて、皆が力をあわせて取り組むための指針として、「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」（以下「条例」という。）を制定するとともに、「松江市伝統文化芸術振興計画」（以下「振興計画」という。）を制定しました。

また、令和4年3月には、「松江市伝統文化芸術振興計画第1期実施計画」（以下「第1期実施計画」という。）を策定し、振興計画の取組方針に基づいて取り組む施策や、具体的な事業を整理と進捗管理を行うことで、松江の文化力を生かしたまちづくりを推進し、「誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに暮らせるまち」というめざすべき姿の実現に向けて取り組んでいます。

種まき期として位置づけている第1期実施計画期間では、こどもを中心とした伝統文化芸術を体験する機会の充実や、文化財情報のデジタル化、さんびる文化センタープラバホールをはじめとした拠点施設の整備など多くの施策や事業を実施し、伝統文化芸術の振興につながる種をまくことができました。

第1期実施計画の成果と課題を検証し、次なる計画期間に萌芽をさらに大きく成長させることで、めざすべき姿を実現するため、松江市伝統文化芸術振興計画第2期実施計画（以下「第2期実施計画」という。）を策定いたします。

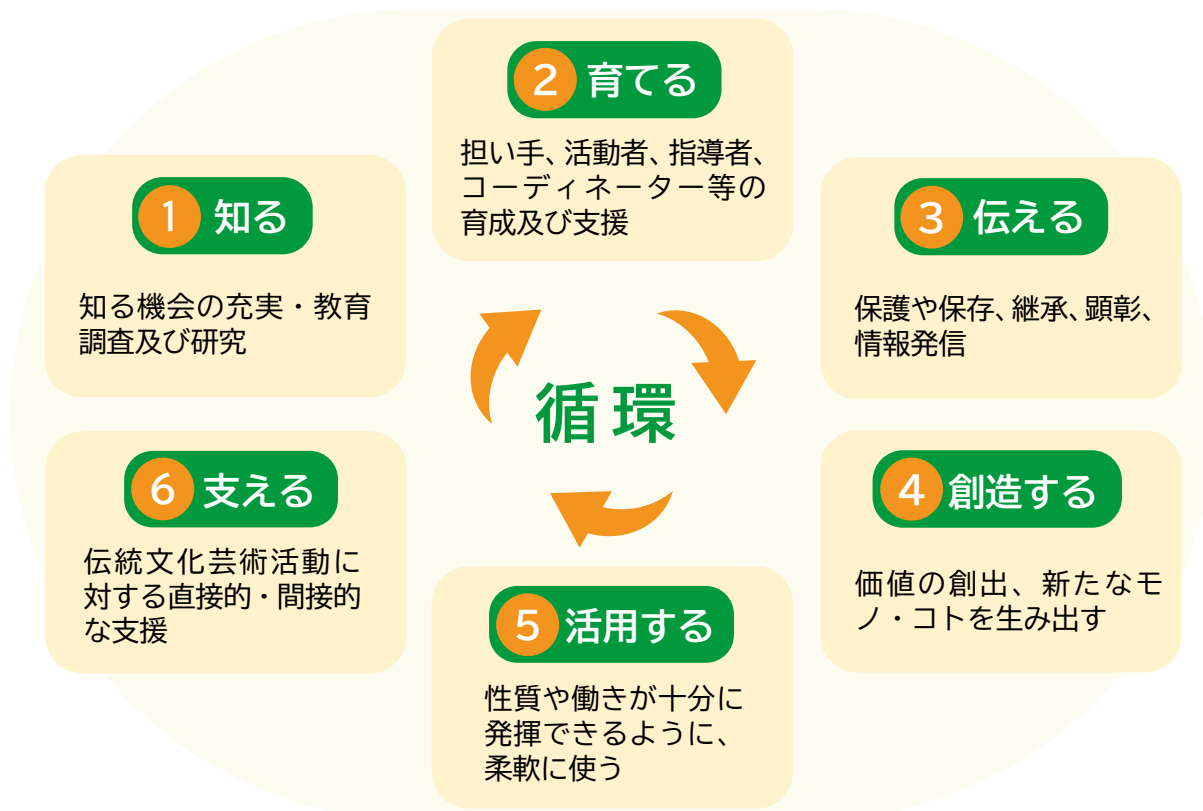
(1)松江の文化力を支える七つの柱

条例及び振興計画では、市民の暮らしの根底にあり市民の誇りとなりうる力を「松江の文化力」と定義し、その「松江の文化力」を支える柱として、以下の七つの伝統文化芸術を定めています。

 <p>1</p>	 <p>2</p>	 <p>3</p>	 <p>4</p>
古代から近代までの 豊富な文化財	地域に根づく 伝統文化	市民生活に根づく 茶の湯文化	小泉八雲が五感で感じた 松江の生活文化
 <p>5</p>	 <p>6</p>	 <p>7</p>	
市民とともに育む 文化芸術活動	伝統文化芸術活動の 拠点となる施設	宍道湖、堀川、中海等の 松江的景観	

(2)六つの取組の視点

条例及び振興計画では、伝統文化芸術の振興にあたって「知る」「育てる」「伝える」「創造する」「活用する」「支える」の六つの取組の視点を取り入れ、循環させながら推進することと定めています。



2 策定の目的と計画期間

(1)策定の目的

振興計画で定めた「七つの柱」と「六つの取組の視点」ごとの取組方針に基づいて、取り組む施策や具体的な事業を整理し、進捗管理を行うことで松江の文化力を生かしたまちづくりを推進し、めざすべき姿を実現するため、実施計画を策定するものです。

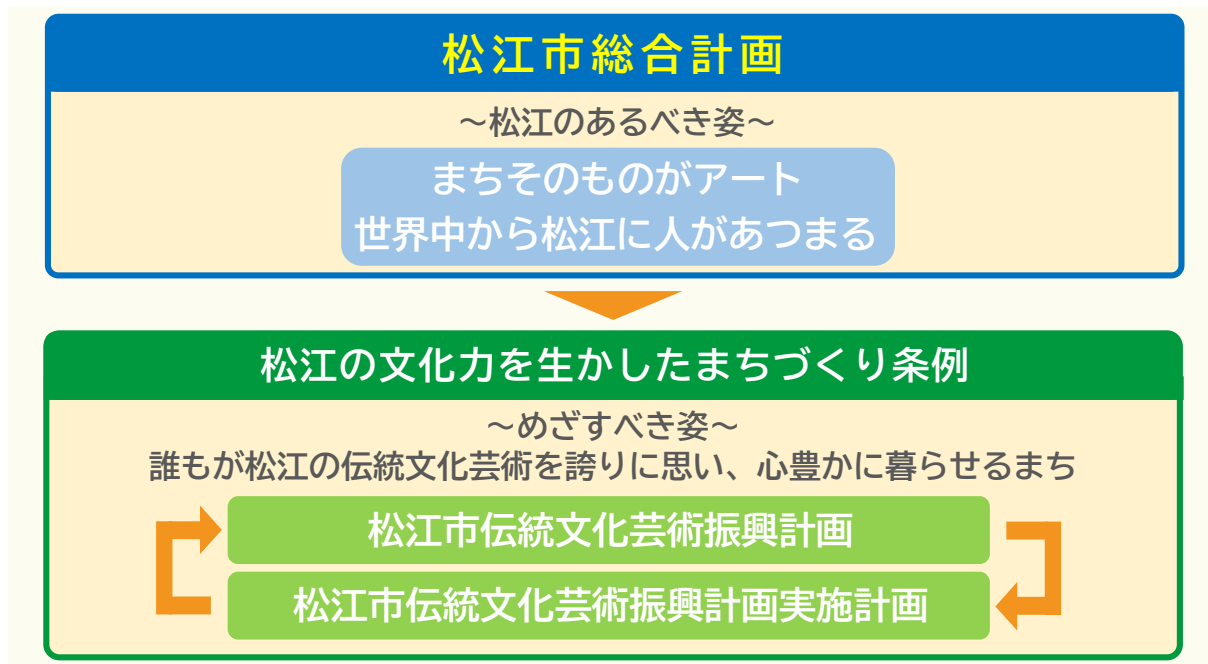
第1期実施計画では、七つの柱ごとに本市が取り組む施策や事業を整理して記載することで現状を把握するとともに、六つの取組の視点を取り入れ、効果的に循環させていくことで、七つの柱ごとの「めざすべき姿」を実現するための取組みを推進しました。

第1期実施計画の期間中には、新型コロナウイルス感染症の拡大による伝統文化芸術活動の減少や少子高齢化の更なる進行による人口減少、デジタル化の急速な進歩に伴うデジタルトランスフォーメーション（DX）の進展など、本市を取り巻く社会状況に変化がありました。

第2期実施計画では、このような社会状況の変化に対応するとともに、第1期実施計画で先鋭化した課題を解決するための施策や事業に取り組むことで、「誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに暮らせるまち」の実現を目指します。

(2)計画の位置づけ

本実施計画は、本市の最上位計画である「松江市総合計画（MATSUE DREAMS 2030）」を上位計画に位置付けるとともに、既存計画と整合性を図りながら、伝統文化芸術振興を推進します。



(3)計画期間

第2期実施計画：令和7年度（2025年度）～令和10年度（2028年度）の4年間
 実施計画の計画期間は1期4年間とし、毎年度、施策や実施事業の評価・検証を行いながら、見直しを行うこととします。

松江市伝統文化芸術振興計画 計画期間：令和3年度～令和14年度（12年間）		
<p>第1期 実施計画 令和3～6年度（4年間）</p>	<p>第2期 実施計画 令和7～10年度（4年間）</p>	<p>第3期 実施計画 令和11～14年度（4年間）</p>
<p>種まき期 実施計画策定前から取り組んでいる事業のほか、現状や課題を踏まえ、取り組むべき施策や事業を推進していきます。</p> 	<p>成長期 改めて種をまく事業、第1期の課題を修正し、充実させて継続する事業など、次の段階として取り組むべき施策や事業を推進していきます。</p> 	<p>収穫期 第1期、第2期の課題や実績を検証し、振興計画を総括するとともに、長期的展望の中で取り組むべき施策や事業を推進していきます。</p> 

誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、
心豊かに暮らせるまち



第2章

現状と課題（第1期実施計画期間を振り返って）

本市では、さまざまな分野の文化芸術活動や地域に根づいた伝統行事、文化財の保存・活用などが活発に行われています。しかし、社会環境の変化などから伝統文化芸術振興を図る上で多くの課題が生じています。

第1期実施計画の策定にあたり、文化団体や個人を対象にした市民アンケートやヒアリング調査を実施し、その調査結果や松江伝統文化芸術振興審議会（以下「審議会」という。）の意見などから、本市の伝統文化芸術振興を図る上での課題を以下の7つに整理し、その解決に向けてさまざまな取組みを進めてきました。

第1期実施計画で整理した7つの課題

- 1 次世代への伝統文化芸術の継承が困難になっている
- 2 伝統文化芸術活動を行う者の活動・発表機会が少ない
- 3 情報発信の不足
- 4 伝統文化芸術に触れる機会が少ない
- 5 伝統文化芸術活動を行う者同士の交流機会が少ない
- 6 資金の不足
- 7 利用しやすい施設の不足

第2期実施計画の策定にあたっては、第1期実施計画で取り組んできた事業の成果を検証するとともに、急速に変化する社会の中で、現在、市内の伝統文化芸術団体が抱えている課題や市民の皆様が求めていることを把握するため、アンケート調査を実施するとともに、審議会にて意見をいただきました。

1 第1期実施計画の取組と成果

第1期実施計画では、七つの柱及び七つの柱に共通して取り組む施策や事業をまとめ、伝統文化芸術振興に取り組んできました。その概略は以下の通りです。



【めざすべき姿】

有形・無形を問わず数多く存在する「文化財」への理解を深め、保存・管理を行うとともに、新たな活用の推進を図り、継承していくまち

【取組方針】

文化財の調査・研究を進め、情報を共有し、保全と利活用を推進する

主な取組

〈知る〉

■ 地域の文化財調査

公民館や地域住民と共同で古文書などの調査を実施

〈伝える〉

■ 国宝松江城天守防災施設等の整備【文化財の適切な保存】

■ 鹿島歴史民俗資料館収蔵品のデータベース化【情報の共有】

〈活用する〉

■ 歴史のまち歩き

公民館区毎に作成した文化財などの地域のお宝を記載したまち歩きマップを活用



公民館区単位での文化財調査



八束町でのまち歩き

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
国・県・市指定等文化財の新指定等件数	件	2	2	2	2
		2	2	4	1
歴史的建造物登録認定数 【平成 28 年度からの累計】★	件	17	18	19	20
		17	17	18	21
松江城天守登閣者数【4月～3月】★	人	445,000	445,000	450,000	460,000
		177,482	314,002	375,756	398,675

成果と課題

文化財のデータベース化や地域の文化財の調査を進めることで、文化財の保全や活用を進めることができている一方、松江城の登閣者数が目標値に達していないなどの現状から、魅力発信の強化が必要。



【めざすべき姿】
 地域に根づく伝統文化を「地域の宝」として継承できるまち

【取組方針】
 子育て世代がこどもと一緒に行事に参加できる地域づくり

主な取組

- 記録選択無形民俗文化財「青柴垣神事」の調査及び用具整備等の支援
- 地域の伝統芸能や祭りを親子で体験できる機会の創出
 佐陀神能やどう行列、墨付けとんどなど

〈伝える〉

- ユネスコ無形文化遺産「佐陀神能」の保存・継承支援
 舞殿の改修や用具の修繕
- 各地域に根づいた伝統行事や祭りの記録・保存支援制度の創設（R4年度～）

〈活用する〉

- 伝統芸能が一堂に会する「松江伝統芸能祭」の開催（R4年度、R6年度）



親子での佐陀神能体験



松江伝統芸能祭

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載のKPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
(小6) 今住んでいる地域の行事に参加している 児童生徒の割合	%	63.2	65	67	69
		63.2	61.1	56.4	58.8
(中3) 今住んでいる地域の行事に参加している 児童生徒の割合	%	45.6	48	50	52
		45	37.6	34.3	52.4
松江祭鑿行列の参加者数	人	2,000	2,000	2,000	2,000
		0	1,000	1,700	1,640

成果と課題

伝統芸能祭の開催や、地域に根づく伝統行事の記録・保存を支援する補助制度の新設など、伝統文化を伝える環境の整備に取り組んだものの、地域の行事に参加している小6や中3の割合は目標値に達していない。特に、学校や地域をフィールドにした学習・活動機会の充実が必要。



【めざすべき姿】

幅広い分野に影響を与えている「茶の湯文化」を、あらゆる世代が様々な形式で、日常生活として親しむまち

【取組方針】

江戸時代から受け継がれてきた松江の「茶の湯文化」や「食文化」など、生活文化を改めて見つめ直し、次世代につなげていく

主な取組

〈知る〉

- 「松江藩ちやのゆの学校」の開催
茶道未経験者やこどもを対象にした体験イベント
- 親子での体験機会の創出
和菓子づくり、八雲塗、抹茶茶碗づくり、そば打ち&出雲弁で紙芝居体験など

〈育てる〉

- 市内及び首都圏、関西圏での工芸品の販売展示

〈伝える〉

- 職人商店街創出のための支援
職人の手仕事の「観える化」「ものづくり体験」の提供のために必要な店舗改修や中心市街地へのトライアル出店に対する補助金交付



松江藩ちやのゆの学校



手仕事の観える化改修をした和菓子店

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
「松江藩ちやのゆの学校」受講者数 【4月～3月】	人	112	124	136	150
		0	34	82	109
明々庵及び赤山茶道会館の入館者数 【4月～3月】	人	12,350	13,212	13,212	13,212
		8,565	15,494	15,736	15,609
出雲かんべの里工芸ショップ及びクラフト展（丘のクラフト展、新規クラフト展）での工芸品販売額【4月～3月】★	千円	4,245	5,370	6,495	7,620
		3,949	8,980	5,841	9,246

成果と課題

茶の湯文化を知る・体験する機会の提供に力を入れて取り組んだ。松江が誇る茶の湯文化を、市内外の方に広く発信することで、市民への浸透を図ることに加え、市外から訪れる方々の興味関心へと繋げることが必要。



小泉八雲が五感で感じた 松江の生活文化

【めざすべき姿】

自分だけの価値観で物事を解釈せず、多様性を尊重する心「オープンマインド」により、様々な価値観を認めあうまち

【取組方針】

五感を使って様々な文化に触れ、感性を養い、多様性を尊重し合える社会の構築

主な取組

〈知る〉

- 小泉八雲の作品やオープンマインドの精神を学ぶための機会の創出
「青少年スピーチコンテスト」、「読書感想文の募集」、「スーパーへるんさん講座」（学校単位での小泉八雲学習）など

〈伝える〉

- 小泉八雲旧居の適切な保存管理と史跡全体の公開・活用に向けた保存活用計画の策定（R6～R7年度）

〈活用する〉

- 声優や俳優、ミュージシャンによる小泉八雲の朗読会などの開催
- 小泉八雲没後120周年記念事業
市内で開催される小泉八雲顕彰イベントへの支援



小泉八雲の作品を英語で暗唱する
青少年スピーチコンテスト



小泉八雲旧居での学習

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
多文化理解を促進する事業への参加者数 【4月～3月】★	人	1,400 1,744	1,800 2,056	2,000 2,780	2,200 2,320
小泉八雲記念館の入館者数 【4月～3月】	人	92,000 29,877	92,000 52,057	92,000 64,952	92,000 89,562
歴史・文化資源のまち歩き参加者数 【4月～3月】★	人	180 182	240 214	240 198	240 103

成果と課題

長年にわたり継続的に実施してきた顕彰事業や、令和7年秋、小泉八雲の妻・セツをモデルとしたドラマの放送決定を受け、小泉八雲への興味関心が高まってきている。従来の取組みに加え、官・民・学連携による事業展開によって、小泉八雲への理解促進の充実を図ることが必要。

5

市民とともに育む
文化芸術活動

【めざすべき姿】
市民により主体的に取り組まれている文化芸術活動を誰もが一層推進し、活動者・担い手・指導者・文化芸術コーディネーター・享受する人たち等が育ち、多様性が尊重される、活気あふれるまち

【取組方針】
文化芸術活動の価値を知り、広め、接する機会を増やすとともに、関わる“人財”の育成を図る

主な取組

〈活用する〉

- 国際演劇祭である「松江・森の演劇祭」の開催支援、こどもの観劇機会の創出
- 「松江市民美術展」の開催による市内の文化芸術活動者の発表の場の創出
デザイン部門の新設、若者の出品無料枠拡大
- プラバホール休館中のコンサート開催や文化芸術動画の配信
文化芸術に触れる機会の確保

〈支える〉

- 各文化団体への活動助成や団体間の交流を促進
松江市文化協会（約 100 の伝統文化芸術団体が加盟）への委託事業



松江・森の演劇祭



松江市民美術展

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
松江市民美術展来場者数	人	1,575	1,650	1,725	1,800
		940	1,061	1,157	1,349
松江市民文化協会加盟団体の団体数	団体	100	105	110	115
		99	97	92	95
八雲林間劇場（しいの実シアター）の利用者数 【4月～3月】	人	5,184	5,930	6,048	6,169
		3,964	6,781	6,768	4,041

成果と課題

コロナ禍にあっては、文化芸術活動への制約があったものの、しいの実シアターでの鑑賞機会の創出や、市民美術展での新部門創設など、市民が幅広く文化芸術に触れる機会を提供した。引き続き、文化芸術の鑑賞・発表の機会の充実に取り組むことが必要。

6



伝統文化芸術活動の拠点となる施設

【めざすべき姿】

伝統文化芸術活動の拠点施設として適切に管理され、誰もが親しみ、伝統文化芸術活動を実践することができるとともに伝統文化芸術に触れ、学ぶことができるまち

【取組方針】

人を育て、適切な活用を促し、伝統文化芸術に触れる機会の創出

主な取組

〈知る〉

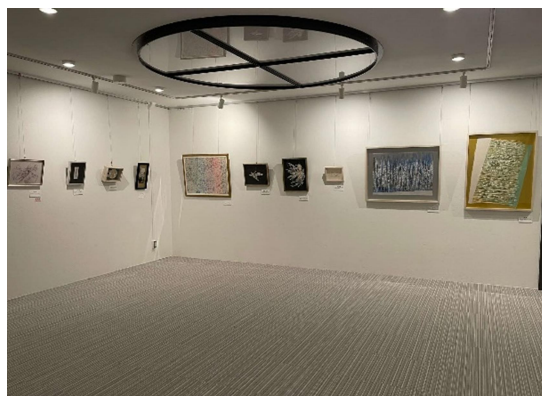
- **さんびる文化センタープラバホールリニューアルオープン事業開催**
「市民創作音楽劇」、「朗読会」、「コンサート公演」など
- **カラコロ工房のリニューアルオープンに併せた伝統文化芸術体験機能の追加**
和菓子やお茶、陶芸など松江の伝統文化に触れることができる体験講座、展示会を開催できるギャラリーの設置

〈伝える〉

- **さんびる文化センタープラバホールの改修**
耐震改修に併せた座席椅子の改修や全館 Wi-Fi 化、授乳室の新設など



リニューアル後の
さんびる文化センタープラバホール



リニューアル後のカラコロ工房ギャラリー

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
プラバホール施設利用者数 ※令和 4 年度、5 年度 休館【延べ利用者数/4 月～3 月】	人	85,000 46,665	— —	7,400 6,700	100,000 90,156
松江歴史館観覧者数【4 月～3 月】	人	52,100 28,760	51,000 42,673	52,000 48,647	53,000 49,449
出雲かんべの里利用者数【4 月～3 月】	人	53,000 60,003	54,000 61,052	55,000 61,832	56,000 120,381

成果と課題

プラバホールやカラコロ工房の改修により、市内文化施設の機能充実を図った。文化の拠点施設に係る情報を効果的に発信することで、施設の利用促進と文化活動の充実に繋げていくことが必要。



7
宍道湖、堀川、中海等の
松江的景観

【めざすべき姿】

多くの文人が「水の都」と書き記し、市民の心のよりどころで誇りとなっている風景が継承され、100年後も変わらず、安らぎを与えられるまち

【取組方針】

住む人が誇りと愛着を感じ、訪ねる人の心に残る松江の景観づくり

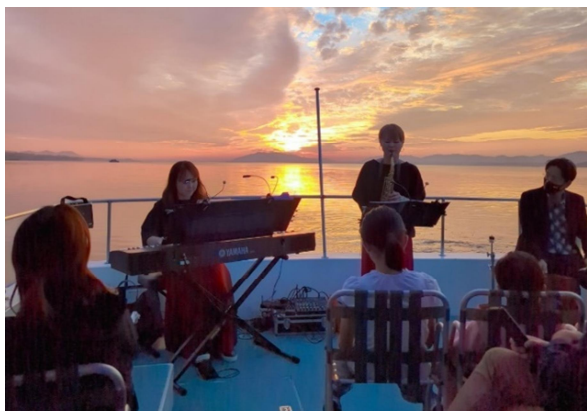
主な取組

〈伝える〉

- 美保関地区の重要伝統的建造物群保存地区選定に向けた調査研究及び住民説明会の実施

〈活用する〉

- 島根半島・宍道湖中海ジオパークの保全・活用
環境保全、貴重な地質資源を生かした教育やツーリズムなどを実施
- 宍道湖や大橋川沿いの水辺空間でのイベント実施を促進
岸公園・白潟公園の河川空間のオープン化



船上で宍道湖の夕景と音楽を楽しむ親子



水辺を楽しむ市民

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
水辺の公共空間活用日数【4月～3月】	日	182	174	174	175
		368	458	280	—
松江市伝統美観保存区域等修景事業費補助金 補助件数【平成19年度からの累計】	件	54	56	58	60
		53	55	57	57
ジオパーク関係イベント入込客数 【4月～3月】	人	2,000	2,200	2,400	2,600
		1,949	2,134	2,413	2,393

成果と課題

岸公園・白潟公園の河川空間のオープン化により、水辺空間の利活用が進んだ。歴史的景観、ジオパーク、水辺環境などの松江が誇る景観を適切に保全するとともに、イベント等によりPRを促進するなど、市民の愛着を育むことができる取り組みが必要。

2 | 七つの柱に共通して取り組む施策や事業



情報発信

主な取組

〈知る〉

- 動画共有サイトや SNS を活用し、伝統文化芸術イベントなどを広く発信
 伝統文化芸術イベントなどをわかりやすく説明する 1 分間のショート動画制作
- AR (拡張現実) や VR (仮想現実) の技術を活用したアプリケーションの提供
 松江城天守の VR や城下町を体験することができる AR
- 伝統文化芸術を分かりやすく説明する情報誌などの発刊
 文化情報誌『湖都松江』、『松江市ふるさと文庫』、歴史館の活動を伝える『MATSUREKI』



動画のリンク集を掲載している松江市 HP



さまざまな刊行物

KPI (重要業績評価目標)

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
松江市 HP 文化関係ページのアクセス数 【4月～3月】	件	200,000	210,000	220,000	230,000
		199,082	132,933	132,356	147,556
松江市文化協会 HP のアクセス数 【8月～10月平均】	件	23,521	23,991	24,470	24,959
		23,521	23,559	22,403	41,851
公式 X (旧 Twitter) (松江城 with 史料調査課) のフォロワー数 【4月～3月】	人	700	800	900	1,000
		710	985	1,131	1,447

成果と課題

情報誌の発刊や、伝統文化芸術イベントを紹介する 1 分動画の作成、AR・VR 技術を活用したアプリケーションの提供など、様々なツールを活用して情報発信を行った。文化の情報を届けたい人に適切に届く形で、情報発信することが必要。



人財育成

主な取組

〈知る〉

- **松江の文化力体験推進事業**
小学生とその保護者が伝統文化芸術を体験する機会の創出
- **校区や地域の歴史・伝統文化などを学ぶための小・中学校での学習機会充実**
- **「松江城授業プロジェクト」**
市立小学校・義務教育学校 6 年生全員が松江城と松江歴史館を訪れ、地域の歴史を学ぶ取り組み

〈育てる〉

- **文化財専門職の採用による文化財のスペシャリストの育成**
埋蔵文化財 6 人、文献史学 3 人を採用



親子で八雲塗を体験する様子



松江城の歴史を学ぶ小学生

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
松江の文化力体験推進事業の講座・体験教室の実施件数【4月～3月】	件	—	20	22	24
		—	13	12	14
松江の文化力体験推進事業の講座・体験教室の参加者数【4月～3月】	人	—	2,300	400	500
		—	294	362	500

成果と課題

松江の文化力体験推進事業の開催により、多様な伝統文化芸術に、親子で体験する機会を創出した。文化を支える人財の確保に繋げるために、学校や地域と連携した体験機会を継続して確保することが必要。



主な取組

〈支える〉

- 本市の伝統文化芸術に対する支援環境整備
ふるさと納税の使途に「松江の文化力を生かしたまちづくり」、「国宝松江城を中心とした城下町を生かしたまちづくり」、「宍道湖・中海などの自然を生かしたまちづくり」を設定
- ふるさと納税の体験型商品の返礼を開始
「国宝松江城一日城主体験」「人力車で巡る松江の旅」など
- 本市初のネーミングライツ（命名権）制度導入
プラバホールのリニューアルオープンに併せ、株式会社さんびるとネーミングライツ・パートナー契約を締結



体験型のふるさと納税返礼品
「国宝松江城 一日城主体験ツアー」



ネーミングライツ・パートナー契約書調印式

KPI（重要業績評価目標）

KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	上段：目標値 下段：結果			
		R3	R4	R5	R6
ふるさと納税受入額【4月～3月】	千円	200,000	200,000	300,000	300,000
		157,184	210,514	379,863	515,117

成果と課題

体験型商品をはじめとしたふるさと納税返礼品の魅力化などにより、令和4年以降、ふるさと納税受入額は目標値を上回った。松江の文化を応援してくれるファンを増やすため、一層の松江の文化を磨き上げとその魅力の発信が必要。

2 アンケートの結果

本市の伝統文化芸術に関する現状と課題を把握するため、「個人」や本市で活動する多様な分野の「伝統文化芸術団体」を対象にしたアンケート調査を実施しました。

(1)アンケート結果の概要（詳細は資料編を参照）

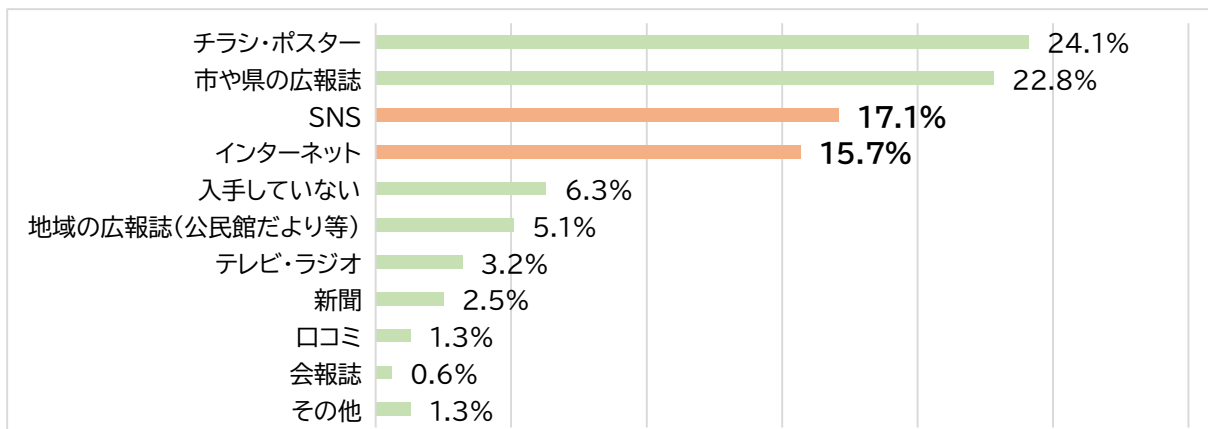
種別	個人アンケート	文化団体アンケート
期間	令和6年7月29日(月)～8月31日(土)	
対象者	市民(個人)	文化団体
回答数	158人	68団体(111団体中)
回答率	—	61%
方法	SNS、公式LINE、HP等	郵送

(2)アンケート結果と分析（詳細は資料編を参照）

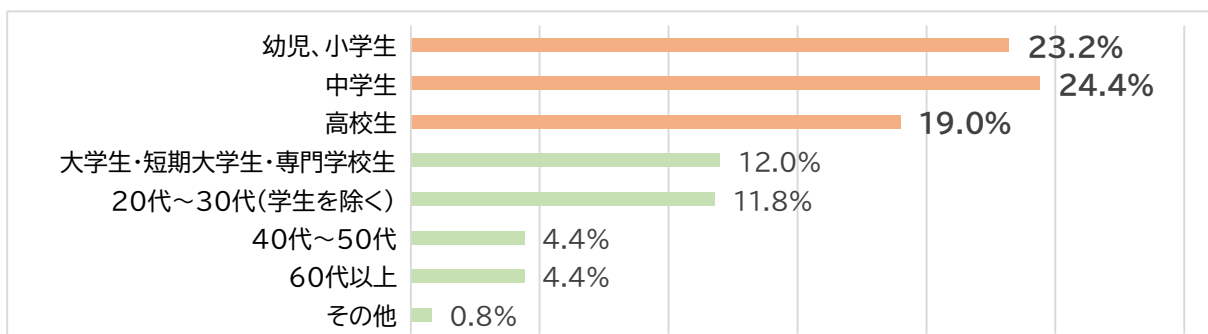
アンケートの集計結果を分析し、「個人」「文化団体」それぞれ特徴的な、結果及び意見を抽出しました。

個人アンケート

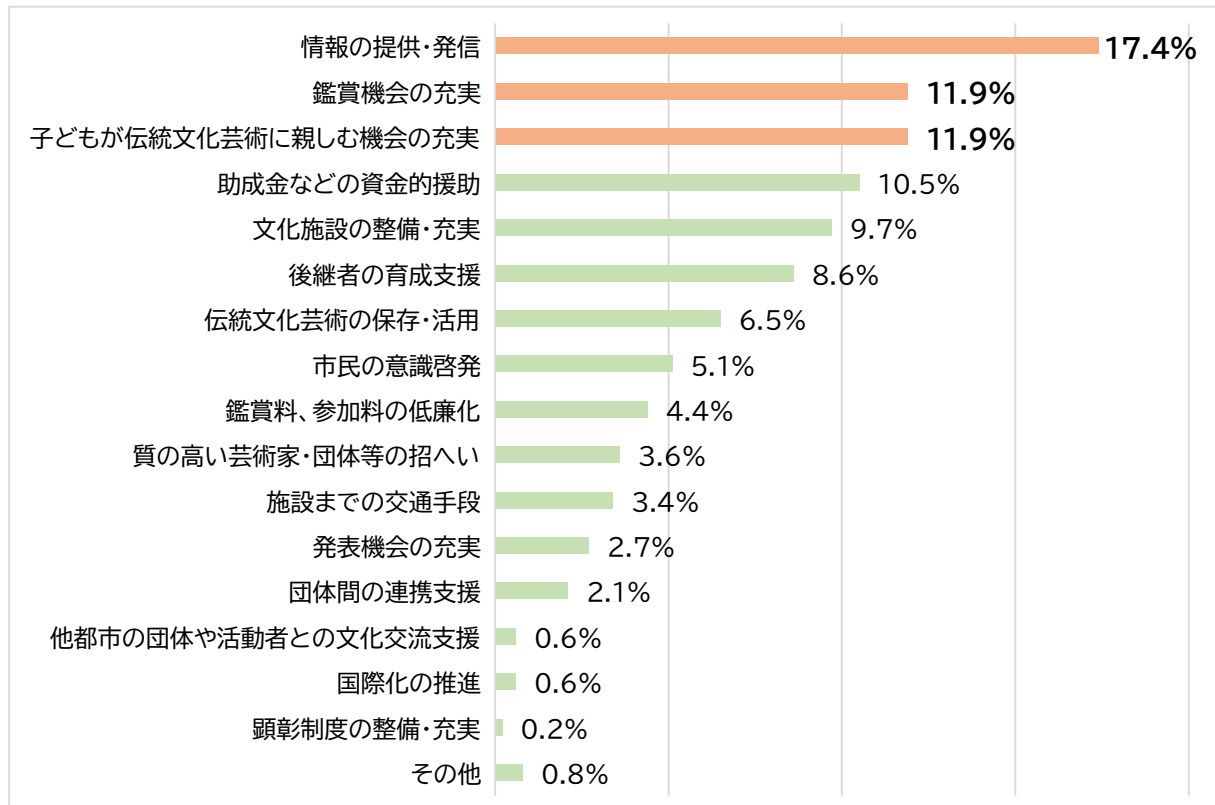
■どのような方法で伝統文化や文化芸術に関する情報を入手していますか



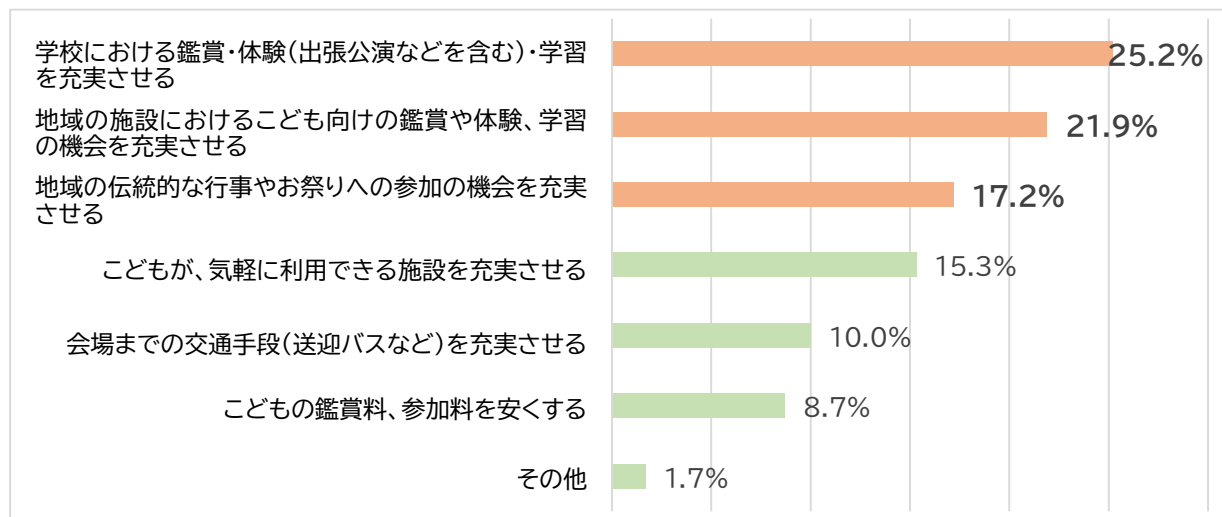
■伝統文化や文化芸術の振興を図るために、どの年代に対して重点的に取り組むとよいと考えますか（3つにチェックしてください）



■伝統文化や文化芸術の振興のために、何が重要だと考えますか（3つにチェックしてください）



■子どもが伝統文化や文化芸術に親しむためには、どのようなことに力を入れる必要があると考えますか（全てにチェックしてください）



○個人アンケート結果の分析○

SNS・インターネットでの情報入手の割合が増加

チラシやポスター、市報などの紙媒体を利用される方は、46.9%と約半数を占めているものの、前回アンケートと比較して、SNS・インターネットのデジタル媒体を利用して情報入手する方の割合が約1.5倍に増加した。

〈前回〉22.5% → 〈今回〉32.8%

「情報発信」「体験・鑑賞機会の充実」が求められる

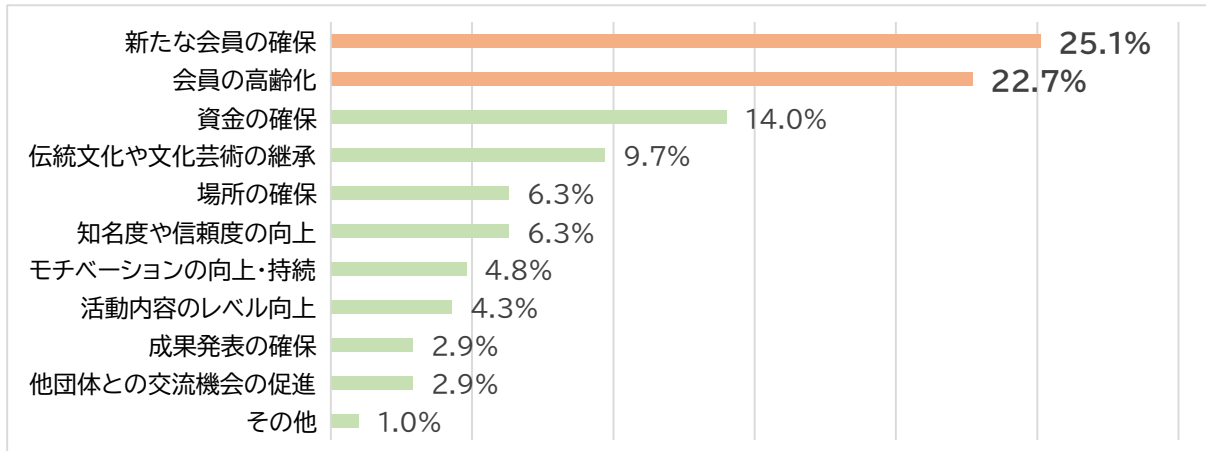
伝統文化芸術の振興には、「情報の提供・発信」、「鑑賞機会の充実」、「子どもが親しむ機会の充実」が重要との回答が4割以上と多くみられた。

「学校と地域」での鑑賞・体験・学習の機会が求められる

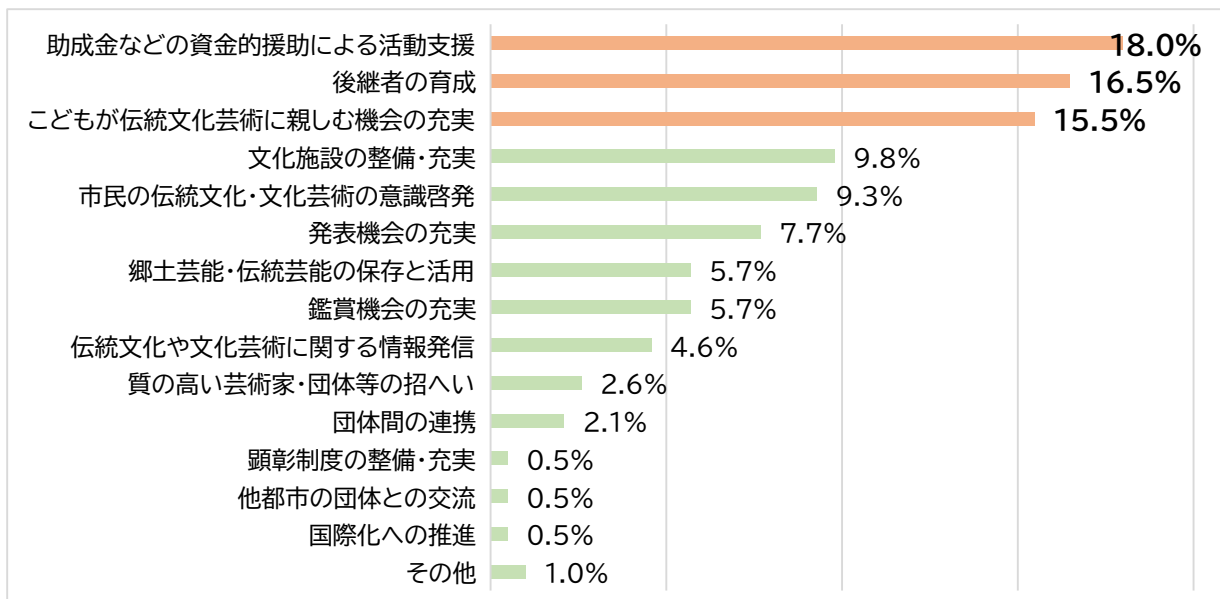
子どもが伝統文化芸術に親しむためには、学校や地域での鑑賞・体験・学習の充実が必要であるとの回答が約半数と多くみられた。

文化団体アンケート

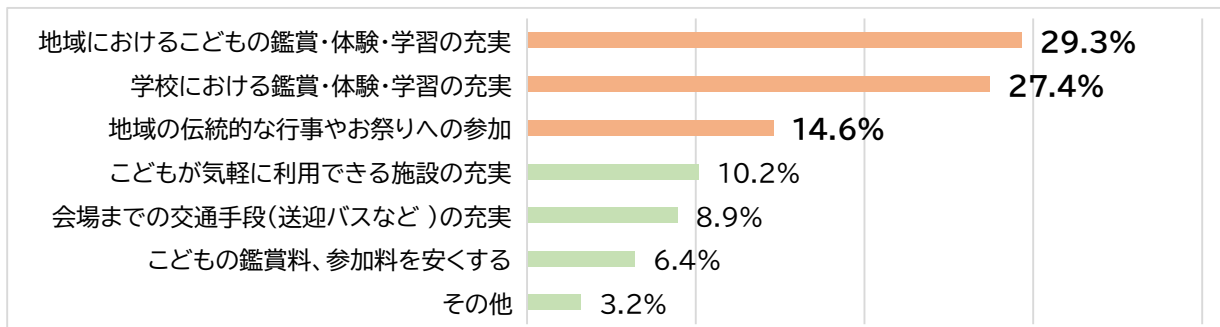
■貴団体が抱えている課題をお答えください（全てにチェックしてください）



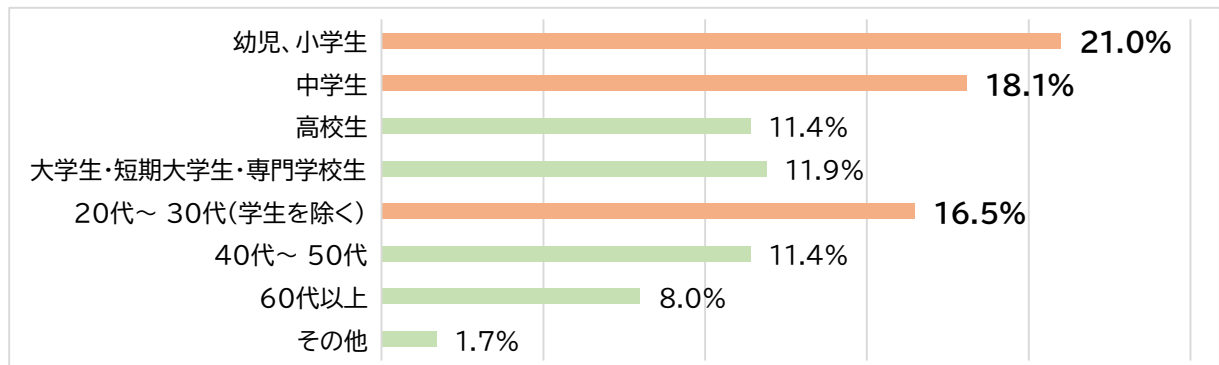
■伝統文化や文化芸術の振興のために、何が重要だと考えますか（3つにチェックしてください）



■子どもが伝統文化や文化芸術に親しむためには、どのようなことに力を入れる必要があると考えますか（全てにチェックしてください）



■伝統文化や文化芸術の振興を図るために、どの年代に対して重点的に取り組むとよいと考えますか（3つにチェックしてください）



○文化団体アンケート結果の分析○

「新たな会員の確保」「会員の高齢化」が課題

団体が抱える課題として、「新たな会員の確保」と「会員の高齢化」が約半数と最も多く、担い手の不足を感じている団体が多い。

「資金的援助」「後継者の育成」が必要

伝統文化芸術の振興には、「助成金などの資金的援助による活動支援」「後継者の育成が重要」「こどもが伝統文化芸術に親しむ機会の充実」との回答が約半数と多くみられた。

「学校と地域」での鑑賞・体験・学習の機会が求められる

個人アンケートと同じく、こどもが伝統文化芸術に親しむためには、学校や地域での鑑賞・体験・学習の充実が必要であるとの回答が約半数と多くみられた。

3 本市の課題

振興計画では、七つの柱それぞれに「めざすべき姿」と「取組方針」を定め、第1期実施計画で具体的な取組みを進めてきたところです。第2期実施計画では、振興計画をはじめ、第1期実施計画の取組みの成果と課題、アンケート結果、審議会の意見などを踏まえ、七つの柱に共通する課題として次の4つを設定し、重点的かつ網羅的に取組みを進めることで、めざすべき姿の実現に取組みます。

第1期実施計画
取組みの成果と課題

アンケート結果

審議会での意見

以上を踏まえて、下記の課題を設定。

第2期実施計画で設定をする4つの課題

01

効果的な
情報発信

もっと知りたくなる
・伝えたくなる

02

鑑賞・体験・
学習の
機会の確保

誰もが「みて・
ふれて・まなぶ」

03

後継者・
担い手
育成

担い手が育つ・
文化がつながる

04

資金確保

応援したくなる、
され続ける

第3章「伝統文化芸術を円るために取り組む施策・方針」からは、各課題に対する取り組みがどの柱に該当するのか、下記のイラストを用いて説明をします。

松江の文化力を支える七つの柱

						
古代から近代までの 豊富な文化財	地域に根づく 伝統文化	市民生活に根づく 茶の湯文化	小泉八雲が五感で感じた 松江の生活文化	市民とともに育む 文化芸術活動	伝統文化芸術活動の 拠点となる施設	宍道湖、堀川、中海等の 松江的景観

1 4つの課題ごとに取り組む施策・方針

01

効果的な
情報発信

もっと知りたくなる・伝えたくなる

文化振興を図るうえで、伝統文化芸術に関する情報が、届けたい人にしっかりと届き、その内容が分かりやすく魅力的に伝わる必要があります。効果的な情報発信が課題である現状に対し、以下の点に取り組みます。

主な取組

1 多様な手段で分かりやすく文化が伝わる

●松江の文化の魅力がより多くの方に伝わるよう、SNS、市HP、市報や冊子などの多様なツールを使用し、伝えたい人、伝えたい内容に応じた情報発信に取り組むとともに、多言語化を進めることで、インバウンド対応にも取り組みます。

また、市はもとより、市民一人ひとりが松江の文化の魅力を実感し、様々な方法を用いて発信したくなるような環境の整備と風土を醸成に取り組みます。

▶見やすい市HP…松江市の歴史・文化、施設、イベント情報や補助制度の掲載



▶誰でも自由・気軽に情報発信…SNS・YouTubeなどの活用、
地域情報サイト「まつえナビ」の利用促進



▶地域の魅力を届ける情報誌の発行・活用…「市報松江」、「まちあるきマップ」、
「松江市ふるさと文庫」、「湖都松江」など



地域情報サイト「まつえナビ」



2 多様な手段で気軽に文化に触れる

●デジタル技術などを活用し、場所・時間、天候や障がいの有無に関わらず、松江の文化に気軽に触れることができる環境整備を推進します。

▶AR(拡張現実)・VR(仮想現実)技術の活用…松江城天守、城下町、田和山史跡公園など



▶資料館などの収蔵品のデジタルアーカイブ化…松江歴史館、鹿島歴史民俗資料館、出雲玉作資料館



▶資料館展示物などの解説アプリの活用…松江歴史館、鹿島歴史民俗資料館



●地域の歴史・文化遺産と地域文化の保存、発展を目的として、地域の歴史資料を収集、保存、公開する拠点施設の整備に取り組めます。

▶「松江市文書館(仮称)」の整備…令和8年度開館予定



松江城天守 VR 体験



KPI (重要業績評価目標)

No.	KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
2	松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4月～3月】	件	(R5)132,356	140,000	142,000	144,000	146,000
3	松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4月～3月】	件	(R6)4,344	4,400	4,500	4,600	4,700
4	市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合★	%	(R6)49.6	55	56.3	57.5	58.8

鑑賞・体験・
学習の
機会の確保

文化振興を図るうえで、伝統文化芸術を気軽に鑑賞・体験・学習する機会が、こどもを中心に幅広い年代で必要です。誰もが鑑賞・体験・学習できる環境を確保するため、以下の点に取組みます。

主な取組

1 市民が文化を身近に感じ、親しむ

●市民が松江の文化を身近に感じ、生活の一部として親しむことができるよう、鑑賞・体験・学習の機会を確保する取組みを推進します。

▶鑑賞機会の確保…「松江・森の演劇祭」、「市民文化祭」、「松江伝統芸能祭」、プラバホールでの各種コンサート、「小泉八雲朗読のしらべ」など



▶親子を対象にした体験機会の確保…「松江の文化力体験推進事業」、「茶の湯の日イベント」、「松江城天守の床磨き」、など



▶学習機会の確保…「松江藩ちやのゆの学校」、松江歴史館等での様々な展示、歴史まち歩き、文化財の公開



2 伝統文化芸術に触れられる場所があちこちにある

●さんびる文化センタープラバホールをはじめとする文化施設、水辺空間、自然などの様々な場所で、気軽に伝統文化芸術に触れることができる機会の創出を推進します。

▶文化施設の活用…プラバホール、しいの実シアター、小泉八雲記念館、中村元記念館、松江市文書館（仮称）、博物館（松江歴史館、安部榮四郎記念館、県立美術館など）、公民館、図書館など



▶街中や水辺で文化に触れる…職人商店街の形成、水辺空間や市役所新庁舎の利活用



▶自然を楽しむ…ジオパーク推進事業、「嫁ヶ島活用事業」など



さんびる文化センタープラバホール



水辺空間でのイベント



市役所新庁舎でのイベント



安部榮四郎記念館での紙漉き体験

KPI（重要業績評価目標）

No.	KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
5	年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合	%	(R5)45.3	45	47	49	51
6	歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】★	人	(R5)198	120	120	120	120
7	松江歴史館観覧者数【4月～3月】★	人	(R5)48,647	54,000	55,500	57,000	58,500

03

後継者・担い手育成

担い手が育つ、文化がつながる

文化振興を図るうえで、伝統文化芸術活動の担い手が必要です。これからの松江の文化の担い手を確保するため、人財を発掘し育成する必要があります。後継者が減少している現状に対し、以下の点に取組めます。

主な取組

1 学校・地域で知る、体験する

●学校・家庭・地域が連携した学習カリキュラムの中で、松江市の歴史や文化を学べる環境の充実を図ります。

▶「ふるさと教育」の推進…松江城、松江歴史館での体験



▶地域の伝統芸能、文化などの体験…佐陀神能、関乃五本松節、卒業証書の紙漉きなど



▶小泉八雲が捉えた松江の文化の学習…「こども塾スーパーへるんさん講座」



松江城授業プロジェクト



スーパーへるんさん講座

2 職人・プロが育つ

●工芸作家や和菓子職人など、手仕事の価値を発信するとともに、新たな販路や雇用の創出を図ります。

▶工芸品の展示、販売ができる機会の創出…カラコロ工房の活用、クラフトフェアの開催



▶新規出店希望者等への支援…「職人商店街創出支援」など



3 伝統文化芸能を守る

●地域に根付く地域行事（祭り、とんど行事など）へ、誰もが参加しやすい環境整備や、地域内外の円滑なコミュニケーションの推進を図ります。

▶地域行事の歴史やノウハウを保存する活動への支援



▶伝統文化・芸能を守る団体に対する活動助成、団体間の連携推進



松江祭藝行列



片江墨付けとんど祭り



佐陀神能



松江市民文化祭

4 市職員の人財育成

- 文化振興を担う各部門に、必要に応じた専門職員の採用・配置を目指します。
- 個々の職員が、文化財や伝統文化、文化芸術の専門的知識の獲得に努めます。加えて、関係機関との関係構築、伝統文化芸術活動を支える方々との連携、伝統芸術活動を行う方同士を結びつけるなど、スキルアップのための研鑽を積んでいきます。

KPI（重要業績評価目標）

No.	KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
8	地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生、高校生、大学生等）の割合	%	(R6)62.6	66	68	70	72
9	松江市民文化協会加盟団体の構成員総数	人	(R5)5,792	5,800	5,800	5,800	5,800

04

資金確保

応援したくなる、され続ける

文化振興を図るうえで、文化施設の維持・管理や文化活動を継続していくために、資金は必要不可欠です。今後も伝統文化芸術活動を継続的に振興していくための財源を確保すべく、以下の点に取組みます。

主な取組

1 松江の文化が応援される環境を整備する

●松江の伝統文化芸術に関心がある方や事業者などが、ふるさと納税やクラウドファンディング、協賛金などで、応援したくなる環境の整備と風土の醸成に取り組めます。

▶魅力的なふるさと納税の返礼品の発掘・開発



2 伝統文化芸術を磨き上げる

●松江城をはじめとする文化財や茶の湯文化、伝統工芸品、伝統芸能など、松江がもつユニークで多彩な文化資源をさらに磨き上げ、市民はもとより松江を訪れた観光客が応援したくなる、また訪れたくなるような取組みを推進します。

3 支援制度を積極的に活用する

●国や島根県、各種団体が実施している各種支援制度の情報収集を行い、積極的な活用を目指すほか、広く情報提供も行うことで、活動者自身が自ら活用できる環境を整えます。

KPI (重要業績評価目標)

No.	KPI の名称 (★は総合計画掲載の KPI)	単位	基準値	R7	R8	R9	R10
10	ふるさと納税受入額【4月～3月】	千円	(R5)379,863	600,000	700,000	700,000	700,000
11	観光入込客数(観光施設・イベントなどの入込客数/【1月～12月】)★	万人	(R5)857	1,020	1,040	1,060	1,080

第4章 推進のあり方

1 推進をする上での役割（市、文化に関わる者の役割）

松江の文化力を生かしたまちづくりを推進するため、市民、伝統文化芸術活動を行う者、事業者、松江の伝統文化芸術活動に関心のある者と本市が連携・協働しながら、実施計画を推進していくことが重要です。そのため、伝統文化芸術を通じて他分野の様々な活動主体が連携・協働し、それぞれの役割を果たしながら一体となって取組みます。

(1)市の役割

松江市

- 伝統文化芸術振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進
- 観光や産業、教育、まちづくりなど様々な分野の施策との連携
- 必要な財政上の措置
- 伝統文化芸術の情報発信

(2)文化に関わる者の役割

市民

- 伝統文化芸術振興の主役
- 自発的かつ主体的に活動や鑑賞を行う
- イベントの運営への参画
- 伝統文化芸術の情報発信

伝統文化芸術活動を行う者

- 自身の活動に積極的に取り組む
- 他団体との連携を深め、交流を図る
- 次代の担い手となる人財の育成

事業者

- 事業や団体への協賛や支援
- 市民との協働や連携
- 従業員の文化芸術活動の環境整備

松江の伝統文化芸術活動 に関心がある者

- 松江の文化力の理解・支援
- 自発的かつ主体的に活動や鑑賞を行う
- 伝統文化芸術の情報発信

2 関係機関との連携及び市の推進体制

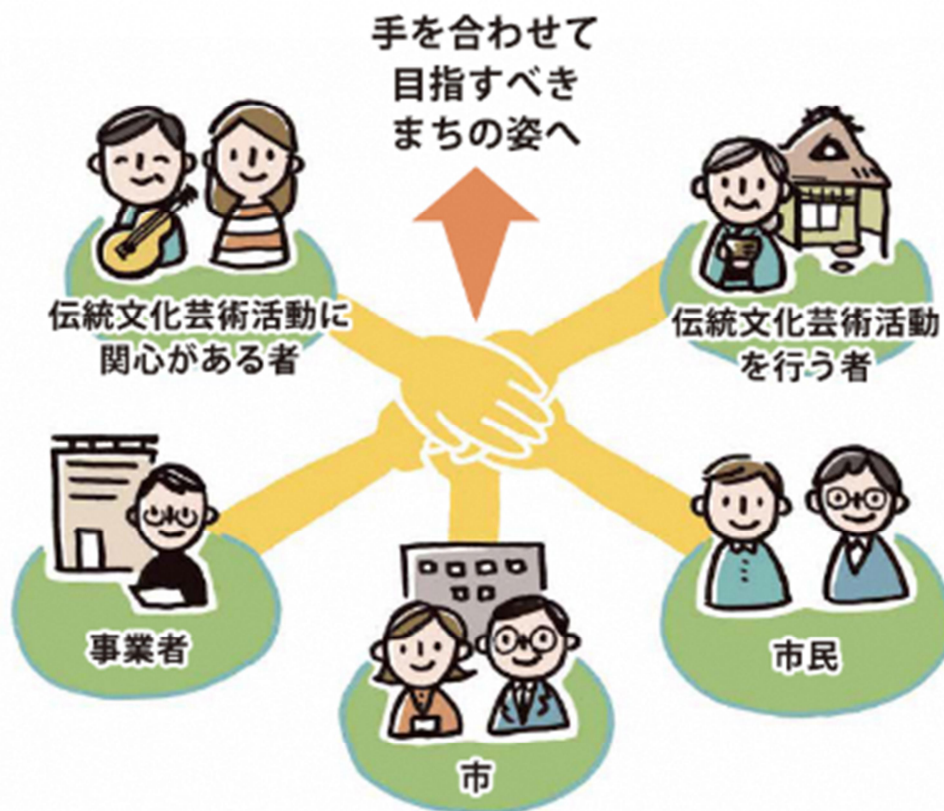
(1)関係機関との連携

国や県も文化政策に取り組んでいます。本市及び文化に関わる者は、国の動向や国や県などの補助制度を注視するとともに、県や宍道湖・中海・大山圏域の各自治体、姉妹都市・友好都市などの行政機関、大学などの専門的な研究機関と、施設間の連携や共同調査研究、文化観光周遊ルートの構築など、様々な分野で連携していきます。

また、本市及び文化に関わる者は、それらの情報を共有するとともに、本市は文化に関わる者の意向やニーズを把握し、それらをスピーディに施策や事業に反映させていきます。

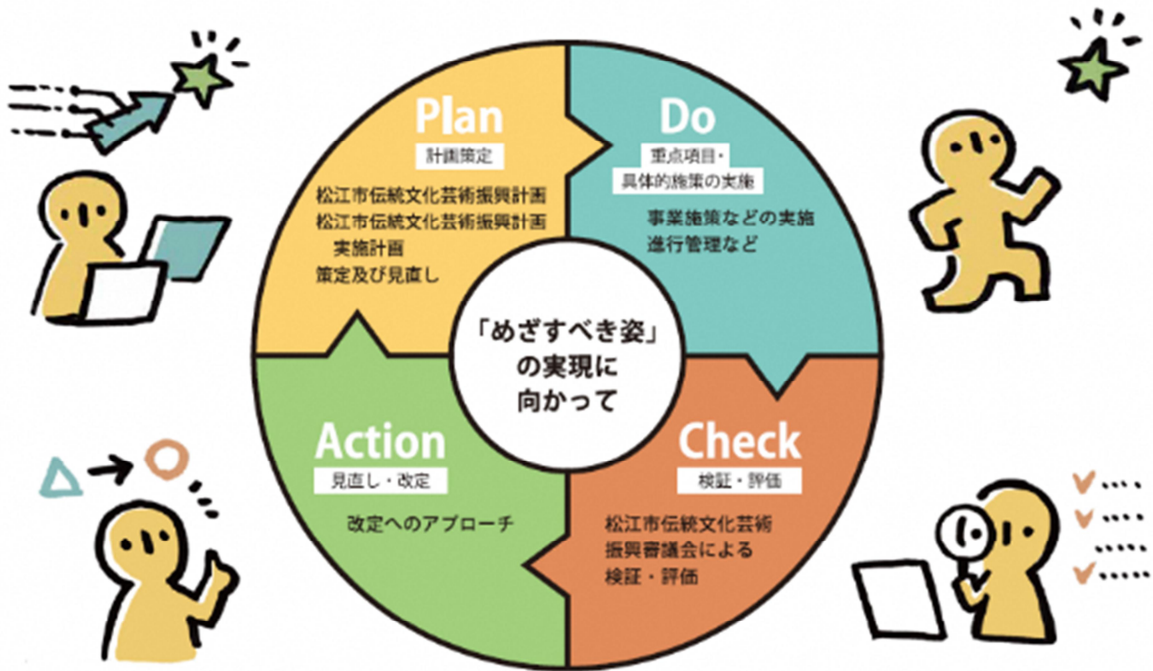
(2)市の推進体制

伝統文化芸術振興に関連する分野は非常に幅広いことから、実施計画を推進するにあたり、市内部での連携が不可欠です。令和3年度に新設をした「文化スポーツ部」を中心に、観光や教育、生涯学習、景観政策などの関連事務を担う部局とも連携し、関係部局による庁内連絡会議を定期的開催することで、「オール松江市」で伝統文化芸術振興に取り組んでいきます。



3 実施計画の評価・検証

実施計画に掲載する施策が効果的に実施され、「めざすべき姿」の実現に向かっていくかを検証するため、進捗管理を行います。PDCA サイクルによって、審議会に実施計画の進捗状況を報告・評価を行い、その結果を踏まえて、施策の見直しや改善を図ります。また、必要に応じて、振興計画の改定も行います。結果については、ホームページで広く市民に公表します。



4 SDGs との連携

本市は令和5年に「SDGs 未来都市」に選定されました。この選定を受け、本計画の策定においては、SDGs の理念と整合を図りながら、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の達成に向けた取組みを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第5章

KPI一覧

	No.	KPIの名称 (★は総合計画掲載のKPI)	項
めざすべき姿	①	「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合	34

【4つの課題ごとのKPI】

効果的な 情報発信	②	松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4月～3月】	34
	③	松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4月～3月】	34
	④	市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合★	35
鑑賞・体験・ 学習の機会 の確保	⑤	年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合	35
	⑥	歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】★	35
	⑦	松江歴史館観覧者数【4月～3月】★	35
後継者・ 担い手育成	⑧	地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生、高校生、大学生等）の割合	36
	⑨	松江市文化協会加盟団体の構成員総数	36
資金確保	⑩	ふるさと納税受入額【4月～3月】	36
	⑪	観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数／【1月～12月】）★	36

【七つの柱ごとのKPI】

文化財	⑫	国・県・市指定等文化財の新指定等件数	37
	⑬	松江城天守登閣者数【4月～3月】★	37
伝統文化	⑭	（小6）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合★	37
	⑮	（中3）今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合★	37
	⑯	松江伝統芸能祭の観覧者数（2年に1回開催）	38
茶の湯文化	⑰	4月24日は茶の湯の日だと知っている人の割合	38
	⑱	明々庵及び赤山茶道会館の入館・利用者数【4月～3月】	38
生活文化	⑲	多文化理解を促進する事業への参加者数【4月～3月】★	38
	⑳	小泉八雲記念館の入館者数【4月～3月】	39
文化芸術活動	㉑	松江市民美術展来場者数	39
	㉒	松江市文化協会加盟団体の団体数	39
	㉓	しいの実シアターの利用者数【4月～3月】	39
拠点施設	㉔	プラバホール施設利用者数【4月～3月】★	40
	㉕	出雲かんべの里利用者数【4月～3月】	40
景観	㉖	水辺の公共空間活用日数【4月～3月】★	40
	㉗	宍道湖を身近に感じる人の割合	40

単位	基準値	目標値				目標値の考え方
		R7	R8	R9	R10	
%	(R6)62.3	65.2	68.1	71.0	73.9	R11年度の目標値77%に向け、段階的に設定

件	(R5)132,356	140,000	142,000	144,000	146,000	毎年+2,000件
件	(R6)4,344	4,400	4,500	4,600	4,700	毎年+100件
%	(R6)49.6	55	56.3	57.5	58.8	毎年+1.25%
%	(R5)45.3	45	47	49	51	毎年+2%
人	(R5)198	120	120	120	120	20人×6回
人	(R5)48,647	54,000	55,500	57,000	58,500	毎年+1,500人
%	(R6)62.6	66	68	70	72	毎年+2%
人	(R5)5,792	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800人を維持
千円	(R5)379,863	600,000	700,000	700,000	700,000	当該年毎に目標値を設定
万人	(R5)857	1,020	1,040	1,060	1,080	毎年+20万人

件	(R5)4	2	2	2	2	年2件以上の指定・追加指定
人	(R5)375,756	470,000	480,000	480,000	490,000	R11年度の目標値500,000人に向け、段階的に設定
%	(R5)56.4	71	73	75	77	毎年+2%
%	(R5)34.3	54	56	58	60	毎年+2%
人	(R4)319	—	500	—	500	隔年開催で500人を維持
%	(R6)36.7	37	39	41	43	毎年+2%
人	(R5)15,736	15,900	16,060	16,220	16,390	明々庵の入館者毎年+1.02% 赤山茶道会館は入館者維持
人	(R5)2,780	2,400	2,600	2,800	3,000	毎年+200人
人	(R5)64,952	100,000	102,000	100,000	100,000	100,000人を維持
人	(R6)1,349	1,400	1,450	1,500	1,550	毎年+50人
団体	(R6)95	95	95	95	95	95団体を維持
人	(R6)3,080	5,300	3,000	3,000	5,300	森の演劇祭開催年は5,300人、それ以外の年は3,000人
人	(R1)76,161	104,000	108,000	112,000	116,000	R11年度の目標値120,000人に向け、段階的に設定
人	(R5)61,832	120,000	120,000	120,000	120,000	毎年120,000人
日	(R5)280	370	395	395	406	湖畔公園整備事業やソフト事業による利用日数の増加
%	(R6)91.7	92	92.5	93	93.5	毎年+0.5%

「めざすべき姿」に関するKPI（重要業績評価指標）

KPI	①「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合			
関連する課題	—			
基準値	(R6年度) 62.3%	総合計画掲載	—	
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	65.2	68.1	71.0	73.9
実績値				
目標値の算出根拠	「松江まちづくりのための市民アンケート」結果 R11年度の目標値 77%に向け、段階的に設定する			

年度	目標値 (%)
R7	65.2
R8	68.1
R9	71.0
R10	73.9

「4つの課題」に関するKPI（重要業績評価指標）

KPI	②松江市ホームページ文化関係ページのアクセス数【4月～3月】			
関連する課題	効果的な情報発信			
基準値	(R5年度) 132,356回	総合計画掲載	—	
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	140,000	142,000	144,000	146,000
実績値				
目標値の算出根拠	松江市公式ホームページのうち「歴史・文化財」「伝統文化・文化芸術」ページのアクセス数の合計 毎年+2,000件を目標にする			

年度	目標値 (万回)
R7	140,000
R8	142,000
R9	144,000
R10	146,000

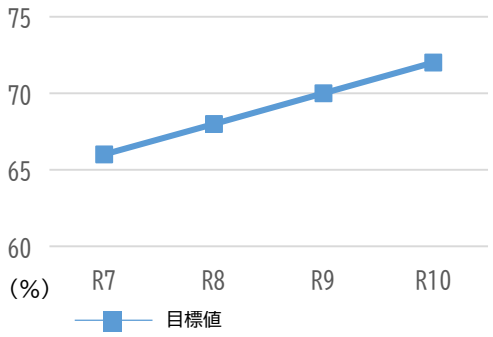
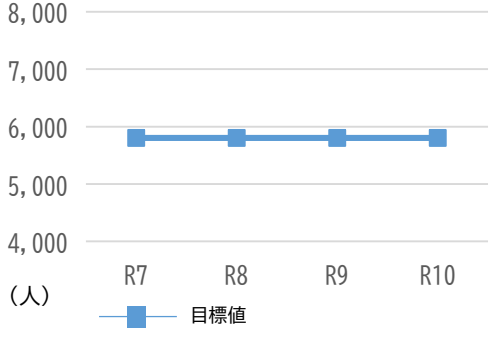
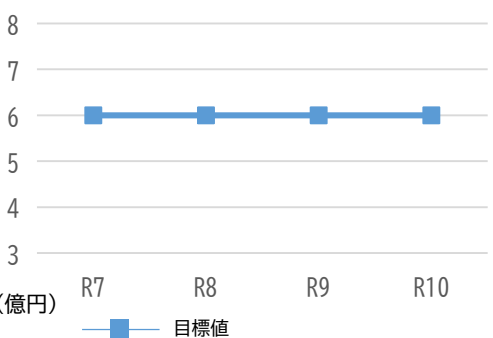
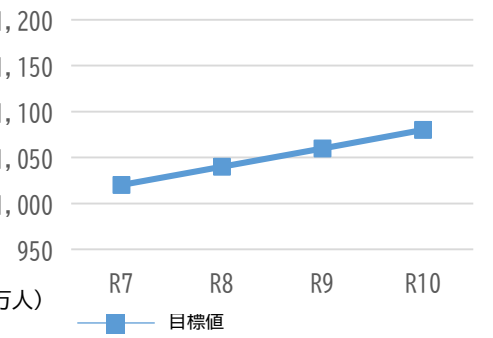
KPI	③松江歴史館収蔵品データベースのアクセス数【4月～3月】			
関連する課題	効果的な情報発信			
基準値	(R6年度) 4,344回	総合計画掲載	—	
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	4,400	4,500	4,600	4,700
実績値				
目標値の算出根拠	毎年+100件を目標にする			

年度	目標値 (回)
R7	4,400
R8	4,500
R9	4,600
R10	4,700

「4つの課題」に関するKPI（重要業績評価指標）

KPI	④市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合													
関連する課題	効果的な情報発信													
基準値	(R6年度) 49.6%	総合計画掲載	○											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	55.0	56.3	57.7	58.8										
実績値														
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果 R11の目標値 60%に向け、段階的に設定する													
	<table border="1"> <caption>④市から発信された情報がわかりやすいと感じる市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>55.0</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>56.3</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>57.7</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>58.8</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値 (%)	R7	55.0	R8	56.3	R9	57.7	R10	58.8
年度	目標値 (%)													
R7	55.0													
R8	56.3													
R9	57.7													
R10	58.8													
KPI	⑤年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合													
関連する課題	鑑賞・体験・学習の機会の確保													
基準値	(R5年度) 45.3%	総合計画掲載	—											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	45	47	49	51										
実績値														
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果 基準値は文化庁「文化に関する世論調査(令和5年度)」を基に算出													
	<table border="1"> <caption>⑤年1回以上、市内で開催される演劇やコンサート等を鑑賞したことがある市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値 (%)	R7	45	R8	47	R9	49	R10	51
年度	目標値 (%)													
R7	45													
R8	47													
R9	49													
R10	51													
KPI	⑥歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】													
関連する課題	鑑賞・体験・学習の機会の確保													
基準値	(R5年度) 198人	総合計画掲載	○											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	120	120	120	120										
実績値														
目標値の算出根拠	「わがまち自慢発掘プロジェクト事業」の参加者数 20人×6回で120人を目標にする													
	<table border="1"> <caption>⑥歴史・文化資源のまち歩き参加者数【4月～3月】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値 (人)	R7	120	R8	120	R9	120	R10	120
年度	目標値 (人)													
R7	120													
R8	120													
R9	120													
R10	120													
KPI	⑦松江歴史館観覧者数【4月～3月】													
関連する課題	鑑賞・体験・学習の機会の確保													
基準値	(R5年度) 48,647人	総合計画掲載	○											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	54,000	55,500	57,000	58,500										
実績値														
目標値の算出根拠	毎年+1,500人を目標にする													
	<table border="1"> <caption>⑦松江歴史館観覧者数【4月～3月】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>54,000</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>55,500</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>57,000</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>58,500</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値 (人)	R7	54,000	R8	55,500	R9	57,000	R10	58,500
年度	目標値 (人)													
R7	54,000													
R8	55,500													
R9	57,000													
R10	58,500													

「4つの課題」に関するKPI（重要業績評価指標）

KPI	⑧地域行事（お祭りや伝統文化など）に参加したことがある（中学生・高校生・大学生等）の割合			
関連する課題	後継者・担い手育成			
基準値	(R6年度) 62.6%		総合計画掲載	—
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	66	68	70	72
実績値				
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果毎年+2%を目標にする			
				
KPI	⑨松江市文化協会加盟団体の構成員総数			
関連する課題	後継者・担い手育成			
基準値	(R5年度) 5,792人		総合計画掲載	—
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	5,800	5,800	5,800	5,800
実績値				
目標値の算出根拠	令和5年度の実績値を維持することを目標とする			
				
KPI	⑩ふるさと納税受入額【4月～3月】			
関連する課題	資金確保			
基準値	(R5年度) 379,863千円		総合計画掲載	—
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	600,000	600,000	600,000	600,000
実績値				
目標値の算出根拠	前年実績を参考に毎年度目標値を設定する			
				
KPI	⑪観光入込客数（観光施設・イベントなどの入込客数）【1月～12月】			
関連する課題	資金確保			
基準値	(R5年度) 857万人		総合計画掲載	—
年度	R7	R8	R9	R10
目標値	1,020	1,040	1,060	1,080
実績値				
目標値の算出根拠	令和11年の目標値1,100万人に向け、毎年+20万人を目標にする。 「MATSUE観光戦略プラン」の目標に準拠する			
				

「七つの柱」ごとのKPI（重要業績評価指標）

KPI	⑫国・県・市指定等文化財の新指定等件数													
関連する七つの柱	古代から近代までの豊富な文化財													
基準値	(R5年度) 4件	総合計画掲載	—											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	2	2	2	2										
実績値														
目標値の算出根拠	年2件以上の指定・追加指定を目標とする													
	<p>(件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値	R7	2	R8	2	R9	2	R10	2
年度	目標値													
R7	2													
R8	2													
R9	2													
R10	2													
KPI	⑬松江城天守登閣者数【4月～3月】													
関連する七つの柱	古代から近代までの豊富な文化財													
基準値	(R5年度) 375,756人	総合計画掲載	○											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	470,000	477,500	485,000	492,500										
実績値														
目標値の算出根拠	R11年度の目標値500,000人に向け、段階的に設定する													
	<p>(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>470,000</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>477,500</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>485,000</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>492,500</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値	R7	470,000	R8	477,500	R9	485,000	R10	492,500
年度	目標値													
R7	470,000													
R8	477,500													
R9	485,000													
R10	492,500													
KPI	⑭(小6)今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合													
関連する七つの柱	地域に根づく伝統文化													
基準値	(R5年度) 56.4%	総合計画掲載	○											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	71	73	75	77										
実績値														
目標値の算出根拠	「市独自意識調査」結果毎年+2%を目標にする													
	<p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値	R7	71	R8	73	R9	75	R10	77
年度	目標値													
R7	71													
R8	73													
R9	75													
R10	77													
KPI	⑮(中3)今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合													
関連する七つの柱	地域に根づく伝統文化													
基準値	(R5年度) 34.3%	総合計画掲載	○											
年度	R7	R8	R9	R10										
目標値	54	56	58	60										
実績値														
目標値の算出根拠	「市独自意識調査」結果毎年+2%を目標にする													
	<p>(%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R7</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>R8</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>R9</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>R10</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>				年度	目標値	R7	54	R8	56	R9	58	R10	60
年度	目標値													
R7	54													
R8	56													
R9	58													
R10	60													

「七つの柱」ごとのKPI（重要業績評価指標）

KPI	⑬松江伝統芸能祭の観覧者数（2年に1回開催）				
関連する課題	地域に根づく伝統文化				
基準値	(R4年度) 319人	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	—	500	—		500
実績値					
目標値の算出根拠	各年開催で500人を目標にする				
KPI	⑭4月24日を茶の湯の日と知っている人の割合				
関連する課題	市民生活に根づく茶の湯文化				
基準値	(R6年度) 34.3%	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	37	39	41		43
実績値					
目標値の算出根拠	4月に開催する茶の湯の日イベントのアンケート結果毎年+2%を目標にする				
KPI	⑮明々庵及び赤山茶道会館の入館・利用者数【4月～3月】				
関連する課題	市民生活に根づく茶の湯文化				
基準値	(R5年度) 15,736人	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	15,900	16,060	16,220		16,390
実績値					
目標値の算出根拠	明々庵の利用入館者について毎年+1.02% 赤山茶道会館については現状維持を目標にする				
KPI	⑯多文化理解を促進する事業への参加者数【4月～3月】				
関連する課題	小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化				
基準値	(R5年度) 2,780人	総合計画掲載	○		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	2,400	2,600	2,800		3,000
実績値					
目標値の算出根拠	毎年+200人を目標にする				

「七つの柱」ごとのKPI（重要業績評価指標）

KPI	②小泉八雲記念館の入館者数【4月～3月】				
関連する課題	小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化			<p>120,000 100,000 80,000 60,000 40,000 20,000 0 (人)</p> <p>R7 R8 R9 R10</p> <p>■ 目標値</p>	
基準値	(R5年度) 64,952人	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	100,000	100,000	100,000		100,000
実績値					
目標値の算出根拠	小泉八雲とセツのドラマ効果を見込み、令和7年度は100,000人を目標とし、令和8年以降は100,000人の維持を目標とする				
KPI	①松江市民美術展来場者数				
関連する課題	市民とともに育む文化芸術活動			<p>1,600 1,550 1,500 1,450 1,400 1,350 1,300 (人)</p> <p>R7 R8 R9 R10</p> <p>■ 目標値</p>	
基準値	(R6年度) 1,349人	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	1,400	1,450	1,500		1,550
実績値					
目標値の算出根拠	毎年+50人を目標にする				
KPI	②松江市民文化協会加盟団体の団体数				
関連する課題	市民とともに育む文化芸術活動			<p>110 105 100 95 90 85 80 (団体)</p> <p>R7 R8 R9 R10</p> <p>■ 目標値</p>	
基準値	(R6年度) 95団体	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	95	95	95		95
実績値					
目標値の算出根拠	95団体の維持を目標にする				
KPI	③しいの実シアターの利用者数【4月～3月】				
関連する課題	市民とともに育む文化芸術活動			<p>7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 2,000 (人)</p> <p>R7 R8 R9 R10</p> <p>■ 目標値</p>	
基準値	(R6年度) 3,080人	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	5,300	3,000	3,000		5,300
実績値					
目標値の算出根拠	「松江・森の演劇祭」の開催年は5,300人、それ以外の年は、3,000人を目標にする				

「七つの柱」ごとのKPI（重要業績評価指標）

KPI	⑳ プラバホール施設利用者数【4月～3月】				
関連する課題	伝統文化芸術活動の拠点となる施設				
基準値	(R元年度) 76,161人	総合計画掲載	○		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	104,000	108,000	112,000		116,000
実績値					
目標値の算出根拠	令和11年度の利用者数120,000人を目標に段階的に設定する				
KPI	㉑ 出雲かんべの里利用者数【4月～3月】				
関連する課題	伝統文化芸術活動の拠点となる施設				
基準値	(R5年度) 61,832人	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	120,000	120,000	120,000		120,000
実績値					
目標値の算出根拠	120,000人の維持を目標にする				
KPI	㉒ 水辺の公共空間活用日数【4月～3月】				
関連する課題	宍道湖、堀川、中海等の松江的景観				
基準値	(R5年度) 280日	総合計画掲載	○		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	370	395	395		406
実績値					
目標値の算出根拠	中心市街地にある6つの水辺空間の延べ利用日数 湖畔公園整備事業や水辺を使ったソフト事業による 利用日数の増加を見込む				
KPI	㉓ 宍道湖を身近に感じる人の割合				
関連する課題	宍道湖、堀川、中海等の松江的景観				
基準値	(R5年度) 91.7%	総合計画掲載	—		
年度	R7	R8	R9		R10
目標値	92	92.5	93		93.5
実績値					
目標値の算出根拠	「松江市まちづくりのための市民アンケート」結果 毎年+0.5%を目標にする				

令和7～10年度 実施事業一覧

事業数:161事業(うち、令和8年度新規事業7事業)

※再掲事業を除く

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点						ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する	支える		
①古代から現代までの豊富な文化財				事業数72事業(うち、令和8年度新規事業6事業)											
101	松江城下町遺跡(天神町)発掘調査事業	文化スポーツ部	★		●										ソフト
	民間事業者からの受託を受け、松江城下町遺跡(天神町1番外)の発掘調査報告書作成を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。														
102	西津田岡遺跡発掘調査事業	文化スポーツ部	★		●										ソフト
	民間事業者からの受託を受け、西津田岡遺跡の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。														
103	鶴灘山古墳群発掘調査事業	文化スポーツ部	★		●										ソフト
	島根県松江県土整備事務所からの受託を受け、鶴灘山古墳群の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第94条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。														
104	大庭鏡田遺跡発掘調査事業	文化スポーツ部	★		●										ソフト
	民間事業者からの受託を受け、西津田岡遺跡の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。														
105	史跡田和山・神後田遺跡史跡等取得事業費	文化スポーツ部	★		●	●							●	●	ソフト
	史跡田和山・神後田遺跡の公有地化を行う。														
106	史跡松江城保存整備事業費	文化スポーツ部	★		●	●	●						●	●	ハード
	来訪者が安全に松江城を訪れ、松江城の本質的価値への理解を深めることができるよう、令和7年度に策定する「史跡松江城整備基本計画」をもとに、計画的な史跡整備を実施するもの。														
107	スポーツ・文化振興財団管理	政策部		●	●	●	●		●	●	●				ソフト
	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に係る人件費等。														
108	城下町・水の都魅力発信事業	観光部			●	●	●	●	●				●	●	ソフト
	観光戦略プランを強かに推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE”～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。														
109	嫁ヶ島活用事業	観光部			●	●	●	●	●				●	●	ソフト
	嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。														
110	松江水燈路事業	観光部			●	●	●	●	●				●	●	ソフト
	松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。														

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
111	城下町AR・VR体験環境整備事業	観光部		●	●	●	●	●					●	ソフト	
	国宝松江城を中心とした文化財の魅力在海外・国内観光客に紹介し体験滞在の満足度を向上させるため、AR(拡張現実)・VR(仮想現実)技術を活用したアプリケーションを提供する。														
112	潜戸観光遊覧船運営補助金	観光部		●	●	●	●	●		●				●	ソフト
	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。														
113	松江の文化力次世代育成・継承事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。														
114	小泉八雲旧居管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】														
115	美保関観光ビュッフェ管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●					●	●	ソフト
	美保関観光ビュッフェの維持管理を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】 重要文化財に指定(令和4年2月)されたことを受け、保存活用計画を策定する。														
116	小泉八雲記念館管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】														
117	文化力を生かしたまちづくり推進事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●					ソフト
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。														
118	ジオパーク推進事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	●	ソフト
	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。														
119	記録選択無形民俗文化財青柴垣神事調査事業	文化スポーツ部		●	●					●				●	ソフト
	今後の継続が危がまれている「青柴垣神事」及び「諸手船神事」について調査を行い、記録を取る。														
120	重文木幡家住宅保存修理(第2期)事業補助金	文化スポーツ部		●	●	●	●						●	●	ソフト
	所有者が実施する重文木幡家住宅主屋ほか9棟の保存修理に対する国補助事業の随伴補助。														
121	重文木幡家住宅防災施設整備事業補助金	文化スポーツ部		●	●	●	●			●				●	ソフト
	所有者が実施する重文木幡家住宅全体の防災施設設備整備(実施設計)に対する国補助事業の随伴補助。														
122	わがまち自慢発掘プロジェクト事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	●	ソフト
	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。														

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
123	国有文化財管理	文化スポーツ部		●	●	●	●			●				ソフト
	国有文化財(名勝天然記念物)の毀損・滅失及び不法占拠を防止するため、国庫補助事業を活用して見廻り監視を行う。													
124	史跡及び名勝菅田庵維持管理	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				ソフト
	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。													
125	史跡松江藩主松平家墓所整備事業補助金	文化スポーツ部		●	●	●	●			●				ソフト
	史跡松江藩主松平家墓所について、文化財の本質的価値を将来にわたって望ましい形で保存し、公開活用する目的で、所有者が実施する保存修理事業に対して、国・県とともに市として補助を行う。													
126	史跡等維持管理	文化スポーツ部		●	●	●	●			●	●			ソフト
	松江市が所有する史跡や重要遺跡の維持管理を行う。													
127	指定文化財維持管理補助金	文化スポーツ部		●	●	●	●			●				ソフト
	指定文化財の管理については、所有者等に様々な法的規制を課して適正な管理をすることとしており、これを円滑に実施するために、所有者等が行う管理上の経費について助成し、文化財の適正な管理を行う。													
128	鹿島歴史民俗資料館管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			ソフト
	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。													
129	出雲玉作資料館管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			ソフト
	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。													
130	松江歴史文化まちづくり計画推進	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			ソフト
	松江歴史文化的風致維持向上計画(歴史まちづくり計画)[計画期間:令和2年度~令和11年度]の進捗管理を行う。													
131	全国街道交流会議	都市整備部		●	●	●	●	●		●	●	●		ソフト
	地域独自の自然、歴史、文化を生かしたまちづくり、みちづくりを議論し、街道を共通軸とした連携・交流を行うNPO全国街道交流会議へ所属し年会費を負担するとともに、第13回全国大会山陰大会(R5開催)のフォローアップ事業を共催する。													
132	重要伝統的建造物群保存地区推進事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●			ソフト
	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。													
133	文化財収蔵施設維持管理	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				ソフト
	文化財収蔵施設として活用する宍道菟古館及び島根歴史民俗資料館及び八雲郷土文化保存伝習施設の維持管理を行う。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
134	歴史的建造物保全継承事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	歴史的なまちなみを形成している古い建造物(歴史的建造物)の滅失を防ぐために、所有者との協働により保全継承し活用することで、歴史的資源を生かしたまちづくりを進める。													
135	篠ノ谷遺跡発掘調査事業	文化スポーツ部		●	●									ソフト
	島根県からの受託を受け、篠ノ谷遺跡(宍道町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。													
136	夫手遺跡発掘調査事業	文化スポーツ部		●	●									ソフト
	島根県からの受託を受け、夫手遺跡(手角町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。													
137	文化財情報発信施設整備事業(埋蔵文化財調査センター)	文化スポーツ部		●	●									ハード
	埋蔵文化財センターと松江市文書館(仮称)を一体的に配置し文化財情報を調査・発信する施設「文化財情報発信施設」のうち、埋蔵文化財センター部分を整備する。													
138	福富 I 遺跡発掘調査事業	文化スポーツ部		●	●									ソフト
	民間事業者からの受託を受け、福富 I 遺跡(乃木福富町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。													
139	松本遺跡発掘調査事業	文化スポーツ部		●	●									ソフト
	民間事業者からの受託を受け、松本遺跡(乃木福富町)の発掘調査及び報告書作成業務を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。													
140	AR・VR推進事業	文化スポーツ部		●	●	●								ソフト
	田和山史跡公園において、ARコンテンツ(田和山山頂から見た古景観の復元)の実装及び田和山遺跡のVRデータ作成を行う。													
141	鏡田遺跡発掘調査事業(受託事業)	文化スポーツ部		●	●									ソフト
	民間事業者からの受託を受け、鏡田遺跡(大庭町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。													
142	宮田古墳群発掘調査事業(受託事業)	文化スポーツ部		●	●									ソフト
	民間事業者からの受託を受け、宮田古墳群(西川津町)の発掘調査を行うもの。なお、文化財保護法第93条および第99条の規定に基づく、記録保存のための措置。													
143	埋蔵文化財本調査事務	文化スポーツ部		●	●	●	●	●						ソフト
	公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団に委託していた発掘調査(本調査)について、松江市直営で実施する体制を整備するもの。													
144	史跡出雲国分寺跡整備事業(単独事業)	文化スポーツ部		●	●	●	●	●						ハード
	八雲立つ風土記の丘を松江市の南の歴史・文化・観光の拠点とするため、史跡出雲国分寺跡の整備を行う。													
145	史跡田和山遺跡公園管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	史跡田和山遺跡公園の維持管理を行うとともに、史跡公園の活用を図る。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
146	重要遺跡活用促進事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江市の重要な遺跡を活用したイベント等を開催し、市民に埋蔵文化財に触れていただく機会を設ける。													
147	石垣修理事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ハード
	崩落の危険性が高い石垣の修理を年次的に行い、石垣の保全を図る。													
148	田和山史跡公園再整備事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ハード
	国指定史跡である田和山遺跡について、追加指定となった神後田遺跡をはじめとする周辺の松江城南郊の遺跡群との関連性などの新たな知見を基に分かりやすく紹介するとともに来訪者が安全に見学できるよう史跡公園の再整備を実施するもの。													
149	埋蔵文化財遺物整理事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	・発掘調査により出土した遺物の整理・保管を行う。 ・公共施設の適正化の方針に基づき、八雲収蔵庫を解体撤去、収蔵遺物は恵曇収蔵施設へ搬送する予定。													
150	埋蔵文化財分布試掘調査事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	遺跡の有無や範囲を確認するための試掘調査を行うとともに、重要遺跡の内容確認を行う。また埋蔵文化財の調査で出土した脆弱遺物について保護、活用のため保存処理を行う。													
151	文化財情報発信施設整備事業(文書館)	文化スポーツ部		●	●			●	●					ハード
	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。													
152	国宝松江城天守保存修理事業	文化スポーツ部		●	●	●	●			●				ハード
	昭和25年～30年の解体修理から70年近くが経過し、屋根や外壁等に損傷が目立つ国宝松江城天守の維持修理を行うもの。													
153	松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年記念事業	文化スポーツ部		●	●			●	●			●	●	ソフト
	松江城天守国宝指定10周年・天守保存150周年という大きな節目にあたる令和7年を祝うとともに、松江城天守を守り伝える機運がさらに高まるように、松江城の価値や魅力を発信するもの。													
154	松江城伐採木有効活用事業	文化スポーツ部		●	●							●	●	ソフト
	令和4年度に天守への延焼防止を目的に伐採した木の有効活用を図る。													
155	松江市文化財保存活用地域計画推進事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	「松江市文化財保存活用地域計画」の推進を図る。松江市文化財保存活用地域計画協議会の開催、「松江の歴史集」のWEB公開などを行う。													
156	地域の文化財調査・発信事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、公民館単位での文化財調査を公民館、地域住民と共に行い、その成果を刊行物などを通じて発信する。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
157	文化財情報デジタル化推進事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	「松江市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財情報のデジタル化を推進し、市民をはじめとするより多くの人に松江の文化財の魅力を伝え、文化財行政におけるデジタル人材の育成も図る。具体的には、連携協定を結ぶ同志社大学文化遺産情報科学調査研究センターとの共同研究により松江城天守VRソフトの作成等を行う。													
158	国宝松江城調査研究事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				ソフト
	調査研究を通じて、松江城の学術的価値を高めるとともに、その成果を各種出版物の刊行などを通じて積極的に情報発信を行う。松本市、犬山市と共に、近世城郭天守群の世界文化遺産登録を目指して共同研究を進める。													
159	松江城・城山公園整備	文化スポーツ部		●	●	●	●			●		●		ハード
	城山公園の便益施設の更新や、公園の環境整備を行い、文化財・都市公園としての魅力向上を図る。													
160	文化財関係書籍製作	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				ソフト
	松江の歴史・文化についてわかりやすく紹介する「松江市ふるさと文庫」の制作を行う。													
161	松江城・城山公園管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		ソフト
	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】													
162	興雲閣管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		ソフト
	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】													
163	松江歴史館管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		ソフト
	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。													
164	松江歴史館資料取得事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		ソフト
	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。													
165	松江歴史館調査・研究事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				ソフト
	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。													
166	松江歴史館展示企画事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●		ソフト
	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
167	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●						ソフト
	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。														
168	ふるさと教育推進事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●						ソフト
	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。														
169	総合的・体験的な学習充実事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●						ソフト
	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。														
170	大口町交流事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●						ソフト
	市内の小学校と義務教育学校の6年生(希望者)を対象に、「堀尾吉晴公」生誕の地である愛知県大口町(姉妹都市)を訪問し、ゆかりの地等をめぐりながらふるさと松江との歴史的なつながりを体感する体験的な学習プログラムを実施する。														
171	「夢☆未来」ふるさと・キャリア教育推進事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●						ソフト
	学校・家庭・地域が連携したキャリア教育の推進を図るほか、「松江城授業プロジェクト」と称し、ふるさと教育の充実を図るため、市内すべての小学校と義務教育学校の6年生が「松江城」「松江歴史館」に実際に行き本物を体験する。R7年度～「ふるさと松江」学習推進事業を統合。														
172	美保関歴史生活体験資料館運営事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●						ソフト
	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。														

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
②地域に根づく伝統文化													事業数16事業(うち、令和7年度新規事業1事業)	
201	中海振興事業	政策部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	中海や中海周辺における文化振興、水産振興、農業振興などに取り組むため策定した「松江市中海振興ビジョン」を推進し、中海周辺の地域振興に取り組む。併せて、中海振興多目的施設(なかうみスカイポート)の利用促進を図るもの。													
202	地域花火実施事業	観光部		●	●	●	●	●		●		●	ソフト	
	地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。													
203	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	ソフト	
	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。													
204	郷土芸能継承発展事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●				ソフト	
	地域伝統芸能祭の開催や保存団体などの支援を通して、伝統芸能文化の継承の機運を高める。													
205	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●			ソフト	
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。													
206	郷土行事等振興事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●				ソフト	
	松江祭鑿行列及び菊花展を開催する。													
207	ジオパーク推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	ソフト	
	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。													
208	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	ソフト	
	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。													
209	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	文化スポーツ部		●	●			●		●			ハード	
	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。													
210	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			ソフト	
	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
211	郷土行事等振興補助金	市民部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
	地域の活性化と地域住民の親睦と郷土愛を育み、豊かなまちづくりに資するため各種イベントを計画実施する実行委員会に対し、助成を行う。 ・恵曇伝統行事														
212	郷土民謡振興補助金	市民部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
	正調「関乃五本松節」を保存するとともに普及・振興に努め、文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている関乃五本松節保存会に補助金を交付する。														
213	地域伝統文化継承推進	市民部		●	●	●	●			●				●	ソフト
	学校教育において、卒業する児童・生徒に地域に伝わる古き良き伝統や文化に触れる機会を提供することにより、伝統や文化への関心を深めるとともに、それらを大切にしようとする心を育み、かつ地域伝統の継承を図ることを目的として、卒業するもの自らが、地域に伝わる紙すきを行い、卒業証書を作成する。														
214	宍道地域郷土行事等振興補助金	市民部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
	松江観光協会宍道町支部(主に実行委員会方式)が実施または支援する『宍道夏祭り協賛事業』に補助金を交付する。														
215	ふるさと教育推進事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●		●					ソフト
	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。														
216	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●		●					ソフト
	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。														

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
③市民生活に根づく茶の湯文化				事業数16事業											
301	職業体験イベント開催支援事業 市内中学2年生を対象に、和菓子職人による和菓子づくり体験などをはじめとする、松江の仕事体験を行う職業体験イベントの開催を支援する。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●					ソフト
302	松江そば文化ブランド化推進事業 「松江の出雲そば」の歴史や文化を広くPRすることで認知度向上を図り、ブランド化を進めることで、観光誘客や地元産そばの生産拡大を目指す。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
303	職人商店街創出事業 中心市街地に、松江が誇る漆器、陶器、民芸紙、めのう細工などの伝統工芸店や、和菓子づくり、茶の湯、そば打ちなどが観て体験できる飲食店が軒を連ね、優れた職人の技とまちの活気が感じられる賑わいの拠点の創出を目指す。	産業経済部		●	●	●	●	●		●					ソフト
304	松江工芸品の魅力発信と担い手育成事業 手仕事の価値に光を当て、国内外に発信することで、若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用の創出を図る。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●					ソフト
305	地域ブランドPR・販路拡大対策事業 関西圏において松江市の特産品の販売や工芸品の展示等を通して、広く「松江市」をPRするとともに、観光誘客や産品の販路開拓・消費拡大に繋げていく。	産業経済部		●	●	●	●	●		●					ソフト
306	地域ブランド産地育成事業 松江産農産物のブランド化や高付加価値化を支援し、安定的な農業経営を実現する。	産業経済部		●	●	●	●		●	●		●			ソフト
307	松江市伝統産業支援事業 市内事業所に従事する優秀な技能者を表彰する。	産業経済部		●	●	●	●	●	●						ソフト
308	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】 子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
309	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●					ソフト
310	明々庵及び赤山茶道会館管理運営 松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●			ソフト
311	茶の湯文化振興 茶の湯の日イベント、茶道未経験者や子どもを対象に茶道を体験する「松江藩ちゃのゆの学校」、食文化シンポジウムなどを開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●					ソフト

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
312	ジオパーク推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。													
313	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。													
314	史跡及び名勝菅田庵維持管理【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	史跡及び名勝菅田庵の維持管理を行う。維持管理に要した実費の一部は所有者が負担し、また県から指定面積に応じて定額の補助金が支給される。なお、既指定地については、従来どおり所有者が維持管理を行う。													
315	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	文化スポーツ部		●	●			●		●				ハード
	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。													
316	松江歴史館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。													
317	松江歴史館資料取得事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。													
318	松江歴史館展示企画事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。													
319	伝統工芸品育成事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江市の伝統的工芸の振興に関する事業(八雲町伝統的和紙製造技術の伝承、普及)を支援し、伝統的工芸の普及と育成を図る。													
320	宍道地域伝統工芸品育成事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	宍道地域で主に生産される、国の指定する伝統的工芸品「来待石灯ろう」産業の振興のため、来待石灯ろう協同組合が行う新製品開発、展示会参加費、後継者育成等に補助を行い地域の伝統産業の発展を図る。													
321	ふるさと教育推進事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
322	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●					ソフト
	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。													
323	出雲かんべの里運営事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●		ソフト
	出雲かんべの里の管理運営を行う。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
④小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化		事業数26事業												
401	「怪談のふるさと松江」事業	観光部		●	●	●	●	●		●		●		ソフト
	「松江怪喜宴」(①松江怪談談義と②酒林堂八雲)の開催について、補助金を交付する。													
402	小泉八雲没後120周年記念事業小泉八雲・セツのドラマを生かして化ける松江推進協議会負担金	観光部		●	●	●	●	●		●	●	●		ソフト
	朝ドラ「ばけばけ」を、全国・世界に向けた松江の魅力発信・観光振興に最大限生かすとともに、将来にわたり「妻セツと出会い、小泉八雲が愛したまち松江」を市民が誇れるよう「小泉八雲・セツの精神・功績」を後世に引き継ぐ。													
403	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】	観光部		●	●	●	●	●		●			●	ソフト
	島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を身近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。													
404	アイルランド交流事業	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	ソフト
	アイリッシュフェスティバル in Matsueの開催に併せて、駐日アイルランド大使館を招待し、意見交換等を行う。また、アイリッシュフェスティバル in Matsue実行委員会への補助金を交付する。													
405	ニューオーリンズ交流事業	観光部		●	●	●	●	●		●			●	ソフト
	松江ニューオーリンズ・フェスティバル実行委員会への補助金を交付するほか、アメリカで開催されるニューオーリンズ・ジャパン・フェストでのPR品の送付等を行う。													
406	山陰日本アイルランド協会事業補助金	観光部		●	●	●	●	●		●			●	ソフト
	松江市民に対し、様々なアイルランド文化紹介事業を実施し、松江市事業の補完的な役割を果たしている山陰日本アイルランド協会に対し、補助金を交付する。													
407	多文化共生推進事業	観光部		●	●	●	●	●		●				ソフト
	外国人住民支援のほか、国際交流イベントや国際理解講座等を行う。													
408	小泉八雲・セツ普及促進事業	文化スポーツ部		●	●				●		●		●	ソフト
	小泉八雲の妻、セツをモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説の放映を契機に、市民の小泉八雲・セツへの理解促進を図る機会・コンテンツを充実させる。													
409	小泉八雲旧居管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●	●		●	ソフト
	小泉八雲旧居(国指定史跡)の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】													
410	小泉八雲記念館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●	●		●	ソフト
	小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】													
411	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				ソフト
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
412	スピーチコンテスト事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	松江を世界に紹介した文豪・小泉八雲の偉大な業績をたたえ、八雲の作品を英語で暗唱するコンテストを開催する。													
413	顕彰団体育成補助金	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	小泉八雲の顕彰団体である八雲会が行う機関紙「八るん」の発行事業に対し、補助金を交付する。													
414	作品普及事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	小泉八雲の作品を対象とする感想文、詩の募集を行うもの。													
415	こども塾スーパーヘルンさん講座事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	八雲に学び、松江や日本の文化を五感で感じるにより、こどもたちならでは視点での「松江」の新たな魅力の発見・創出につなげる。													
416	朗読のしらべ開催事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		ソフト
	松江市出身の俳優・佐野史郎氏の朗読とギターリスト・山本恭司氏の音楽により小泉八雲の作品の世界観を表現するコラボプログラムを開催する。													
417	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。													
418	ジオパーク推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	ソフト
	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。													
419	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	文化スポーツ部		●	●				●	●				ハード
	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。													
420	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	ソフト
	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。													
421	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		ソフト
	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。													
422	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●		ソフト
	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めもの細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
423	松江歴史館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。													
424	ふるさと教育推進事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。													
425	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。													
426	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
⑤市民とともに育む文化芸術活動				事業数27事業										
501	嫁ヶ島活用事業【再掲】 嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●	ソフト
502	松江水燈路事業【再掲】 松江の光の景観形成の方針である「光のマスタープラン」に基づき実施する「松江水燈路」を開催することで、城下町松江の夜の賑わいを創出し、滞在型観光客の増を図る。	観光部		●	●	●	●	●			●	●		ソフト
503	松江武者行列事業 平成15年から堀尾吉晴公とその一行が松江城に入城する様子を再現した市民参加型イベントとして開催。	観光部		●	●	●	●	●	●	●		●		ソフト
504	海の学苑ふるさと創生館管理運営 美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ)の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部		●	●	●	●	●		●				ソフト
505	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】 子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
506	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●				ソフト
507	中村元記念館活用事業 インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●	●	ソフト
508	文化芸術振興事業 合唱団体の育成、合唱技術の向上を図り、音楽文化の振興を図るため、松江コーラルソサエティの活動を支援する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
509	国際文化観光都市・松江・森の演劇祭事業 3年に1度開催する松江・森の演劇祭について、補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●	●	●	●	ソフト
510	市民音楽祭開催事業 松江市民音楽祭を主催する松江市民音楽団体連絡協議会へ補助金を交付する。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●			●	ソフト
511	市民美術展開催事業 市民から芸術作品を募集し、市民美術展を開催する。	文化スポーツ部		●	●	●	●		●	●				ソフト

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
512	八雲林間劇場管理運営	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。													
513	文化協会事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	文化の振興のため、市民文化祭や文化イベント支援、文化情報誌「湖都松江」発行など各種事業を松江市文化協会へ委託する。													
514	ジオパーク推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。													
515	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	文化スポーツ部		●	●			●		●				ハード
	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。													
516	鹿島文化ホール・ミュージックフェスタ事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	鹿島文化ホールにおいて実施される音楽イベントへの補助事業。 ・ピアノフェスティバルinかしま ・鹿島ジュニア音楽会													
517	鹿島文化活動推進事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	鹿島地区における文化活動の推進や地域内交流の推進を図るための文化祭を開催する実行委員会への補助事業。 ・鹿島町民文化祭													
518	島根町地域コミュニティ支援事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	伝統行事、文化講演会の開催など自治会独自の活動に対して補助を行うことで、地域の連帯感の醸成や地域活動の活性化を図る。													
519	美保関芸術文化振興事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	美保関町内において行われる文化鑑賞事業に対し、地域の文化・芸術の振興に寄与することを目的に文化・芸術の振興に資する事業を支援する。													
520	八雲ふれあい文化祭事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	八雲町内各種文化サークル、小中学校、幼稚園、保育園等の活動や作品の展示をはじめ、発表の場をつくることにより、町民の文化意識の向上と交流を図る。													
521	宍道地域文化活動推進事業	市民部		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	文化活動や生涯学習の推進を図るため、宍道公民館運営協議会が行う宍道町民文化祭に対して補助を行う。													
522	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●		●				ソフト
	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
523	音楽教育振興事業助成	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	交通費等の経費を補助することで、遠距離校を含めた市内の小中学生が一同に会する機会を安定して創出し、児童生徒の音楽教育振興を図る。													
524	ぷらっとプラバ魅力発見事業	教育委員会		●	●						●	●		ソフト
	新たに着任した音楽プロデューサーの指揮により、さんびる文化センタープラバホールを拠点として、こどもたちをはじめ多くの市民に身近に感じてもらうための事業を実施する。													
525	鹿島文化ホール管理運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。													
526	総合文化センター運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●			●	ソフト
	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。													
527	八雲アルバホール管理運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●				ソフト
	八雲アルバホールの管理運営を行う。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
⑥伝統文化芸術活動の拠点となる施設			事業数41事業(うち、令和8年度新規事業1事業)												
601	電子図書館運営費 障がいのある方や図書館へ行くことが難しい方を含め、すべての人が本を楽しめる環境を整備するため、電子書籍をウェブ上で貸し出す図書館サービスを導入、運用するもの。	教育委員会	★		●	●	●	●		●					ソフト
602	中海振興多目的施設管理運営 松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き桟橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部		●	●	●	●	●							ソフト
603	京店広場・旧日銀松江匠工房管理 松江市京店広場と旧日銀松江匠工房の管理運営を指定管理者に委託するもの。	産業経済部		●	●	●	●	●		●		●			ソフト
604	来待ストーン管理運営 来待ストーンの管理運営を指定管理者に委託するもの。	観光部		●	●	●	●	●	●	●		●			ソフト
605	海の学苑ふるさと創生館管理運営【再掲】 美保関海の学苑ふるさと創生館(メテオプラザ)の管理運営を指定管理者に委託する。	観光部		●	●	●	●	●		●					ソフト
606	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】 「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●					ソフト
607	明々庵及び赤山茶道会館管理運営【再掲】 松江市茶道文化施設(明々庵(県指定文化財)・赤山茶道会館)の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●			ソフト
608	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】 子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
609	小泉八雲記念館管理運営【再掲】 小泉八雲記念館の管理運営を指定管理者に委託する。【指定管理者制度適用】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●		●			ソフト
610	かやぶき交流館管理運営 八雲かやぶき交流館の管理運営を指定管理者に委託するもの。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●		●		●			ソフト
611	八雲林間劇場管理運営【再掲】 八雲林間劇場の管理運営を指定管理者に委託する。	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●				ソフト

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
612	中村元記念館活用事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	インド哲学・仏教学上大変貴重な、松江市に寄贈された3万冊を超える蔵書を文書検索管理システムに分類・入力し、活用していく。また、学術振興を目的とし、学生の論文を対象とする「中村元東洋思想文化賞」の表彰にあたり奨励賞(市長賞)を授与するための負担金を支出する。													
613	ジオパーク推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。													
614	鹿島歴史民俗資料館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	鹿島歴史民俗資料館の管理・運営及び発掘調査に伴う出土品の特別展示や佐太神社を中心とした由緒ある文化財のほか、佐陀神能に関する資料、増田渉と魯迅関連資料等の保存・伝承や有効活用を図る。													
615	出雲玉作資料館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	全国唯一の玉作り資料館として、「古代の玉作り」を柱に、「近代めのう細工」、「布志名焼の歴史」等の常設展示を行うとともに、企画展等を開催する。													
616	文化財情報発信施設整備事業(埋蔵文化財調査センター)【再掲】	文化スポーツ部		●	●									ハード
	埋蔵文化財センターと松江市文書館(仮称)を一体的に配置し文化財情報を調査・発信する施設「文化財情報発信施設」のうち、埋蔵文化財センター部分を整備する。													
617	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	文化スポーツ部		●	●									ハード
	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江市文書館」を整備するもの。													
618	松江城・城山公園管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	国宝松江城天守を含む城山公園の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理者制度適用】													
619	興雲閣管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	県指定文化財である興雲閣の維持管理・運営、活用を行う。【指定管理制度適用】													
620	松江市文書館機能整備事業	文化スポーツ部 総務部		●	●	●	●							ハード
	歴史的に重要な公文書と、地域に所在する歴史史料(古文書等)を等しく収集・整理・保存し、市民の利用に供することを目的とし、「松江市文書館(仮称)整備構想」に基づき、文書館の機能を整備する。													
621	松江歴史館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示とともに学習活動の場を提供する松江歴史館の管理運営を行う。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
622	松江歴史館資料取得事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	松江の歴史や文化に関わる財産を後世に引き継ぐため、貴重な資料は購入などによって取得するとともに、収蔵環境を良好に保ち、資料を適切に保管し活用する。														
623	松江歴史館調査・研究事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	魅力ある展覧会とするため、翌年度以降に開催する展覧会の調査研究を行い、その成果を研究紀要や講演会で広く伝える。														
624	松江歴史館展示企画事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	松江の歴史や文化を市民や観光客に知っていただくため、松江に深く関わりのあるテーマを題材とした展覧会を開催する。														
625	松江ホーランエンヤ伝承館管理運営【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	水都松江市が誇るホーランエンヤを保存伝承し、その素晴らしさを広く伝える松江ホーランエンヤ伝承館の管理運営を行う。														
626	まちのRe-project事業	まちづくり部		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組むとともに、SNSや動画を活用した情報発信を行う。都市再生推進法人の指定および業務連携により、官民連携でのまちなか再生を推進する。また、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗利活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の利活用につなげる。														
627	ぷらっとプラバ魅力発見事業【再掲】	教育委員会		●	●								●	●	ソフト
	新たに着任した音楽プロデューサーの指揮により、さんびる文化センタープラバホールを拠点として、こどもたちをはじめ多くの市民に身近に感じてもらうための事業を実施する。														
628	総合文化センター整備	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ハード	
	施設建設後35年以上が経過する中、文化振興の拠点としての役割をこれからも担うことができるよう、必要な整備を行う。														
629	美保関歴史生活体験資料館運営事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	美保関歴史生活体験資料館の管理運営を行う。														
630	公民館管理	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	公民館の維持管理を行う。														
631	公民館施設改修事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ハード	
	公民館施設・設備の耐用年数等を踏まえ、優先度の高いものから改修等を実施する。														
632	公民館振興事業	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト	
	市民学習発表会を松江市公民館運営協議会連合会へ事業実施を委託し実施する。														

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
633	鹿島文化ホール管理運営【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江市鹿島文化ホールの管理運営を行う。													
634	出雲かんべの里運営事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	出雲かんべの里の管理運営を行う。													
635	人と情報・文化の交流館運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	人と情報・文化の交流館の管理運営を行う。													
636	総合文化センター運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	松江市総合文化センター(プラバホール)の管理運営を行う。													
637	八雲アルバホール管理運営【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	八雲アルバホールの管理運営を行う。													
638	中央図書館運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	市民の意見を取り入れながら、ニーズに応じた資料の収集やレファレンス、情報の発信を行う。中央図書館を中心に、2つの地域館、移動図書館車、配本事業の連携、また、地域、学校図書館、大学等とのネットワークにより全市域に良質な図書館サービスを提供する。													
639	移動図書館運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	図書館から離れた地域へ移動図書館車(ブックモバイル)で巡回して図書の貸出等を行い、全市域への図書館サービス充実を図る。													
640	島根図書館運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。													
641	東出雲図書館運営	教育委員会		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ソフト
	市全域に良質な図書館サービスを提供するため、地域館における図書資料の貸出、レファレンスサービス等を行う。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
⑦宍道湖、堀川、中海等の松江的景観												事業数34事業			
701	中海振興多目的施設管理運営【再掲】 松江市中海振興多目的施設の維持管理運営費。船舶も利用可能な浮き棧橋のほかサイクリング休憩所や野鳥観察の機能を備えている。	政策部		●	●	●	●	●							ソフト
702	雲州人参振興対策事業 雲州人参産地の再興を図るため、生産にかかる農家負担を軽減できるよう新たな栽培体系の実証、普及などに向けた取り組みに対して支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●		●	●				●	ソフト
703	松江大根島牡丹振興対策事業 本市特産である、松江大根島牡丹の生産振興を図るため、国内外の販路拡大に向けた取組、土壌病害虫対策として、消毒剤の購入、新規就農者への苗の供給に対する支援を行う。	産業経済部		●	●	●	●		●	●					ソフト
704	八束花卉生産振興センター管理運営 農家の栽培・経営技術の向上、牡丹の品種の保存活動を行い、特産品の認知度向上を図る。特産品を基幹とした補完作物や新規作物の研究を行う。	産業経済部		●	●	●	●	●	●	●					ソフト
705	城下町・水の都魅力発信事業【再掲】 観光戦略プランを強力に推進するため、コンセプトである「Authentic Japan “MATSUE”～城下町 水の都 暮らしに息づく伝統～」にある「城下町」や「水の都」にスポットを当てた事業を展開し、松江市の魅力を最大限に活用した観光振興を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●		ソフト
706	地域花火実施事業【再掲】 地域花火の開催を支援することで、地域の賑わい創出や地域コミュニティ活性化にもたらす効果等を検証し、今後の地域花火のあり方について検討する。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●		ソフト
707	嫁ヶ島活用事業【再掲】 嫁ヶ島を活用したイベント開催を補助し観光資源として活用・魅力向上を図るとともに、常設ライトアップの維持管理を行う。	観光部		●	●	●	●	●		●		●	●		ソフト
708	松江水郷祭補助金 松江市の最大の夏祭りである水郷祭の運営のため、補助金を交付する。	観光部		●	●	●	●	●		●				●	ソフト
709	潜戸観光遊覧船運営費補助金【再掲】 島根半島東部地域の景勝地である加賀潜戸を間近で観覧できる遊覧船の運行管理体制を整えることで、観光事業の振興発展を図る。	観光部		●	●	●	●	●		●				●	ソフト
710	チェリーロード管理運営 市道チェリーロード線沿いの桜並木の維持管理を行う。桜並木の施肥、消毒、下草刈を行う。桜開花時期に交通誘導、ライトアップ、看板の設置及び撤去を行う。	観光部		●	●	●	●			●					ハード
711	古浦海水浴場管理運営 恵曇漁港古浦海岸の維持管理を行うもの。	観光部		●	●	●	●			●					ソフト

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
712	自然公園維持管理	観光部		●	●	●	●	●	●					ハード	
	宍道湖北山県立自然公園内施設及び大山隠岐国立公園内施設の維持管理を行うもの。														
713	松江の文化力次世代育成・継承事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●				●	ソフト
	子どもとその保護者などに、松江の伝統文化芸術を知る、体験するなどの機会を継続して提供するとともに、地域の伝統行事に携わる団体を支援することで、七つの柱の共通課題である次世代育成や伝統文化芸術の継承を図る。														
714	文化力を生かしたまちづくり推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●						ソフト
	「松江の文化力を生かしたまちづくり条例」に基づき策定する計画や設置する審議会により、毎年事業をローリングしながら、文化芸術振興事業を推進する。														
715	椿文化観光振興事業	文化スポーツ部		●	●	●	●	●					●		ソフト
	松江市の市花である「椿」の種の保存及び椿を通じた地域振興策の検討														
716	ジオパーク推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	●	ソフト
	地域の貴重な地質遺産や多様な生態系、伝統文化を次世代に守り、伝える活動を通じて、ふるさとの誇りや愛着を高め、人材育成を促進するとともに、観光や産業などの地域振興に繋げる。														
717	わがまち自慢発掘プロジェクト事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	●	ソフト
	公民館区毎に作成した地域の“お宝”を記載した「まち歩きマップ」を、地域活動に活用できるように、残数が少ない地区のマップを更新・増刷する。また、マップを活用したまち歩きを開催する。														
718	重要伝統的建造物群保存地区推進事業【再掲】	文化スポーツ部		●	●	●	●	●	●	●			●	●	ソフト
	美保関町美保関の美保神社周辺に残る歴史的なまちなみの保存・活用を通して、生活環境や景観の向上を図り、生活や生業、伝統行事等を後世へ継承する。														
719	文化財情報発信施設整備事業(文書館)【再掲】	文化スポーツ部		●	●				●	●					ハード
	松江市の所有する歴史的に重要な公文書と地域に残る歴史資料(古文書等)を収集・保存し、市民の利用に供するための施設「松江文書館」を整備するもの。														
720	賢明な利用推進事業	環境エネルギー部		●	●	●	●	●	●	●			●		ソフト
	ラムサール条約の目的のひとつである「賢明な利用(ワイズユース)」を市民・事業者・行政が一体となって推進するため、庁内の関係各課との連携や、全国のラムサール条約登録湿地市町村と情報交換などを図る。														
721	宍道湖水環境改善協議会負担金	環境エネルギー部		●	●	●	●						●		ソフト
	国土交通省出雲河川事務所、島根県、松江市、出雲市が連携し、「中海・宍道湖一斉清掃」、「手長工ビ採り体験」、「親子で楽しむ宍道湖での水遊び体験」、「宍道湖絵画コンクール」、「たたらの里森で学ぶ、遊ぶ」、「ヨシ刈り取り事業」といった取り組みを実施し、宍道湖の総合的な水環境の改善に努める。														

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード	
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える
722	海岸漂着ごみ等処理事業	環境エネルギー部		●	●	●	●			●				ソフト
	自治会等で行われるボランティア清掃により集められた海岸漂着ごみの収集、運搬、処理を行うことにより地域の環境保全の推進を図る。													
723	まちのRe-project事業【再掲】	まちづくり部		●	●	●	●		●	●		●		ソフト
	リノベーションまちづくりガイドラインを活用した普及啓発に取り組みとともに、SNSや動画を活用した情報発信を行う。都市再生推進法人の指定および業務連携により、官民連携でのまちなか再生を推進する。また、遊休不動産の所有者に対して当事業の情報提供・空き家空き店舗活用意向調査を行うことで、新たな遊休不動産の利活用につなげる。													
724	伝統美観保存区域等整備事業	まちづくり部		●	●	●	●			●			●	ソフト
	松江市伝統美観保存区域等修景事業費補助金交付要綱に基づき、補助対象区域内における伝統的様式の建築物等の新築、改築に対し補助金を交付するもの。													
725	屋外広告物許可事務事業	まちづくり部		●	●	●	●			●				ソフト
	市民の安全や良好な景観を守るため、松江市屋外広告物条例に基づいた屋外広告物の許可事務を行う。また、違反広告物対策として是正指導及び簡易除却を行い、屋外広告物の適正化を図る。													
726	景観計画促進整備事業	まちづくり部		●	●	●	●			●				ソフト
	良好な景観形成に関する施策が特に必要と認められる区域を景観計画重点区域に指定する。景観法に基づく行為届出書(又は通知書)について、建築物・工作物等が景観計画に適合しているか確認を行う。必要に応じて、各種団体の代表や専門家等で構成される松江市景観審議会を開催し、良好な景観形成を推進する。													
727	水辺の利活用促進事業	都市整備部		●	●	●	●	●					●	ソフト
	官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進やミズベリング縁日など水辺でのイベントのほか利活用促進のための社会実験などを行う。													
728	河川浄化事業	都市整備部		●	●	●	●			●				ソフト
	堀川周辺水域に繁茂する水草・藻類の除去作業に加え、河川愛護団を中心とした市内河川の堤防除草等河川環境保全業務を行う。なお、市内県管理河川においては、島根県との協働により浄化事業を実施する。													
729	堀川美化事業	都市整備部		●	●	●	●			●				ハード
	堀川遊覧等で集客力のある「堀川」及び「堀川への流入河川・排水路」について、美化清掃を行うとともに周辺環境を整備するもの。													
730	松江湖畔公園再整備事業	都市整備部		●	●	●							●	ハード
	宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、観光客や湖岸・公園を利用される市民のための利便性・快適性の向上を目的とした公園整備を実施する。													

No	事業名	担当部局	新規事業	事業年度				六つの取組の視点					ソフト/ハード		
	事業概要			R7	R8	R9	R10	知る	育てる	伝える	創造する	活用する		支える	
731	川から海へ大航海in鹿島実行委員会補助金	市民部		●	●	●	●	●					●	●	ソフト
	鹿島町でそれぞれ行われてきた地域・世代間の交流を深め、自然環境を大切にする地域行事「いかだ下り」や「郷土学習」の事業を同時開催する実行委員会に助成を行う。														
732	ぼたん祭事業	市民部		●	●	●	●	●		●			●		ソフト
	実行委員会を組織し、松江市の特産であり、市花・県花である「大根島ぼたん」をテーマとする「松江市大根島ぼたん祭」を開催するもの。														
733	ふるさと教育推進事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●		●					ソフト
	地域住民の学校教育への参画や、自主的な学習活動、社会参加活動促進等、学校と家庭、地域が一体となった体系的な教育活動を推進することを目的とし、学社連携・融合による「ふるさと教育」を市内各小・中・義務教育学校で実施する。														
734	総合的・体験的な学習充実事業【再掲】	教育委員会		●	●	●	●	●		●					ソフト
	「ふるさと松江」の生活・産業、自然環境や歴史文化について、体験を通して総合的に学ぶ学習を充実することで、「ふるさと松江」に誇りと愛着をもつ人材を育成する。そのために、各小・中・義務教育学校で校区や地域の特色を活かした総合的・体験的な学習を実施する。														